

Microsoft® Windows™

OASYS/Win

V2.0

CD-ROM版

USER'S GUIDE

ユーザースガイド



はじめに

このたびは、OASYS/Win CD-ROM版をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、画期的なO A環境を実現する Microsoft® Windows™の世界と、専用ワープロとして実績を持つOASYSの世界を融合させた、新世代のワープロソフトです。あなたのビジネスを、ホビーを、素敵に演出します。

OASYS/Win CD-ROM版のパッケージを開いたら、まず最初にこのマニュアルをお読みください。

本書は、次の各章で構成されています。

第1章 お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことが書いてあります。必ずお読みください。

第2章 OASYS/Win CD-ROM版の準備

本製品をお使いになるには、あらかじめ「OASYS/Win」「文字/パターン基本セット」「CDView/Win」をハードディスクにインストールします。ここでは、「OASYS/Win」と「文字/パターン基本セット」「CDView/Win」のインストール方法を説明しています。

第3章 OASYS/Winの基本操作

OASYS/Winを使う上で、最低限知っておいていただきたい必要な操作や機能を説明しています。

第4章 オンラインマニュアルの使い方

本製品の特徴の一つである、オンラインマニュアルの使い方について説明しています。オンラインマニュアルを使う際にお読みください。

第5章 CDView/Winリファレンス

CDView/Winの全機能について使い方を説明しています。オンラインリファレンスや各種CD辞書を使う際にお読みください。

なお、本書では「日本語 Microsoft® Windows™ V3.0」と「Microsoft® Windows™ Version 3.1」を「Windows」と表記しています。

また、「OASYS/Win V2.0」を「OASYS/Win」、「文字/パターン基本セット/Win」を「文字/パターン基本セット」、「OASYS-CDView/Win」を「CDView/Win」と表記しています。あらかじめ、ご了承ください。

Microsoft、MS-DOSは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Windowsは、米国マイクロソフト社の米国での登録商標です。

「広辞苑」は岩波書店の著作物です。

「最新医学大辞典」「最新医学大辞典スタンダード版」は医歯薬出版の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1994

製品の構成と概要

製品の構成

◎CD-ROM (1枚)

OASYS/Win CD-ROM版を使うために必要なプログラムやデータが入っています。

- OASYS/Win V2.0
- OASYS-CDView/Win
- オンラインチュートリアル (機能紹介編)
- オンラインチュートリアル (操作練習編)
- オンラインリファレンス

OASYS/Win リファレンスマニュアル

OAK/Win ユーザーズガイド

- キーボード操作練習
- クリップアート集 (メタファイル)

◎フロッピー (1枚)

- インストールプログラム

◎紙マニュアル (3冊)

- OASYS/Win V2.0 CD-ROM版ユーザーズガイド
- OASYS/Win V2.0 ハンドブック
- OASYS/Win V2.0 ビギナーズガイド

紙マニュアルの紹介

本製品はCD-ROM内でオンラインマニュアルとしてマニュアルを提供しておりますが、別売で次のようなOASYS/Win の紙マニュアルも提供しておりますので、必要に応じてご利用ください。

●『OASYS/Win V2.0 リファレンスマニュアル』

本製品の『OASYS/Win リファレンスマニュアル』から、「数式」と「推敲支援」の説明を除いた内容で、OASYS/Win本体が持つすべての機能を掲載しているマニュアルです。

●『OASYS/Win V2.0 数式ユーザーズガイド』

OASYS/Win上で、複雑な数式を入力するためのマニュアルです。本製品では『OASYS/Win リファレンスマニュアル』に統合されています。

●『OASYS/Win V2.0 推敲支援ユーザーズガイド』

OASYS/Win上で推敲機能を使うためのマニュアルです。本製品では『OASYS/Win リファレンスマニュアル』に統合されています。

●『OASYS/Win V2.0 OAK/Win ユーザーズガイド』

本製品の『OAK/Win ユーザーズガイド』と同様の内容で、OAK/Winの機能を説明しているマニュアルです。

製品の特徴

◎OASYS/Winの特色

●使いやすい操作環境

OASYS/Winは、グラフィカルユーザインタフェースにより、使いやすい操作環境を提供します。コマンドの選択など、ほとんどの操作がマウスによって行えます。したがって、複雑なキー操作を覚える必要がなくなりました。また、パソコンによるキー操作の違いを意識しないで操作できます。

●ウィンドウについて

操作は、ウィンドウと呼ばれる画面の中で行います。ウィンドウは、大きさを自由に変更したり、移動したりできるので、一度にいくつもの文書を見ることができます。

●グラフィックについて

複雑な図やグラフを簡単に作成することができます。また、イメージ、ビットマップおよびメタファイルを読み込んで、文書に貼り付けることができます。

●文字修飾について

文字の大きさや形、色を変える文字修飾の機能があります。文字に工夫をして、メリハリのある文書が作成できます。

●さまざまな印刷

通常の印刷のほか、はがき、原稿用紙などに印刷をすることができます。また、書体を変えたり、ふちのなめらかな文字を印刷することができます。

●複数の仕事を

複数の文書を同時に表示させながら交互に編集したり、印刷をしている一方で、文書の編集を続けることができます。

●広がるOASYS/Winの世界

クリップボードおよびリンク/エンベッド機能を使用して、OASYS/Winと他のアプリケーションソフトの間でお互いのデータを利用することができます。また、OASYS/2のほか、OASYSシリーズやFM-OASYSなどの、OASYS文書フロピィを共用することもできます。

◎CD-ROM内にマニュアルが収められています

本製品は、従来は紙で提供されていたマニュアルを、一部を除き、CD-ROM内にソフトと一緒に収めています。これにより、紙マニュアルを開く手間がなくなり、OASYS/Winを使いながら、作業を中断することなく画面上でマニュアルを検索し、表示させることができます。

◎入門用プログラム（オンラインチュートリアル）がすぐに使えます

初めてOASYS/Winをお使いになる方のために、オンラインチュートリアルがCD-ROMに収められています。従来、製品の機能を知る、基本的な操作をマスターするなどは、まず紙マニュアルを開かなければなりませんでした。しかし、本製品では紙マニュアルを読まなくても基本的な使い方をマスターできる、入門用のプログラム（オンラインチュートリアル）が用意されています。

◎その他のオプション

OASYS/Winの機能とは別に、CD-ROM内には「キーボード操作練習」と「クリップアート集」が収められています。

●キーボード操作練習

キーボードを、よりうまく使いこなすための練習用の機能です。かな、英字の他、かな漢字変換練習もできます。キー配置の画面表示や誤打鍵記録などの機能があります。ハードディスクにインストールするとアイコンが表示されます。アイコンから起動して、メッセージに従って操作してください。


●クリップアート集


人物、行事、季節、オフィスなどの分野からなる図形データ集（メタファイル）です。文書中に挿絵として取り込むことなどができます。OASYS/Winの「組込み設定」（→オンラインリファレンス）の機能を使って、CD-ROMから直接読み込んでお使いください。

クリップアート集については、本書の付録、「クリップアート集」（→P. 83）を参照してください。格納ディレクトリ構造と、データの一覧が掲載されています。

本書の使い方

本文中のメニューおよびコマンドの表記、ページの見方について

本文中の表記	解 説
【終了】	プルダウンメニューの項目を意味しています。
〈了解〉	ダイアログボックス中のプッシュボタンを意味しています。
【タブ】 	キー操作を意味しています。キー表記は機能名で記述されています。実際の操作は、お使いのキーボードによって若干異なります。詳しくは、『ハンドブック』を参照してください。
機 能	機能の解説をしています。
サンプル	画面例や、操作の結果を示しています。
確 認	操作を始める前に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。
操 作	操作手順を説明しています。
取 消	操作を取り消す方法を説明しています。
項 目	メニューやダイアログボックスの項目を説明しています。
活用法	機能をさらに活用するための説明をしています。
注 意	その機能を使うときに、注意していただきたい項目を説明しています。
参 考	その機能を使うときに、知っておくと便利なことを説明しています。

※「活用法」や「項目」など、それぞれの項目に対応した参考は、「」マークでそれぞれの項目内に記載してあります。

マウスの使い方について

OASYS/Winでは、文字入力以外のほとんどの操作をマウスで行えます。本書では、マウスによる操作を中心に説明しています。なお、キーボードで操作することもできます。

用 語	操 作 方 法
クリック	マウスボタンを1度押して、すぐ離すことをクリックといいます。
ダブルクリック	マウスボタンをすばやく2度続けて押すことをダブルクリックといいます。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押しながらマウスを移動して、その後離すことをドラッグといいます。

CONTENTS

はじめに
製品の構成と概要
本書の使い方

第 1 章 お使いになる前に

知っておいていただきたいこと…………… 2

第 2 章 OASYS/Win CD-ROM版の準備

1. OASYS/Win CD-ROM版をインストールする…………… 8
2. インストールオプションを個別にインストールする…………… 15
3. インストールする前の状態に戻す（アンインストール）…………… 17

第 3 章 OASYS/Winの基本操作

1. OASYS/Winの起動と終了…………… 20
2. 文書作成画面の見方…………… 22
3. ツールバーの使い方…………… 24
4. プルダウンメニュー…………… 26
5. 範囲の指定方法…………… 28
6. 基本的な編集操作の流れ…………… 32
7. ダイアログボックスの設定方法…………… 33
8. 書類や文書を選ぶ…………… 35
9. 文書の保存のしくみ…………… 39

第 4 章 オンラインマニュアルの使い方

1. オンラインマニュアルとは…………… 42
2. オンラインチュートリアルの使い方…………… 43
3. オンラインリファレンスの使い方…………… 47
4. オンラインヘルプの使い方…………… 51

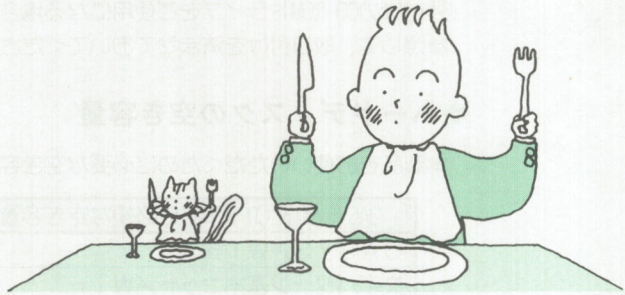
第 5 章 CDView/Winリファレンス

1. CDView/Winの起動と概要…………… 54
2. 基本…………… 58
3. 検索…………… 64
4. 連携…………… 72
5. 表示…………… 74
6. オプション…………… 80

付 録	1. CDView/Win機種別キーボード対応表.....	82
	2. クリップアート集.....	83
	3. CDView/Winツールバーアイコン一覧.....	92
索 引	50音順索引.....	94

第 1 章

お使いになる前に



知っておいていただきたいこと..... 2

知っておいていただきたいこと

▶OASYS/Win CD-ROM版を使う上で、最初に知っておいていただきたいことを説明します。

必要なハードウェア・ソフトウェア

「OASYS/Win CD-ROM版」の箱（パッケージ）に入っているもの以外に、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

◆Windowsが動作可能なパソコン環境

◆CD-ROMドライブ

外付けのCD-ROMドライブをご使用になる場合は、CD-ROMドライブに添付のマニュアルを参照して、取り付けを済ませておいてください。

◆ハードディスクの空き容量

本製品をお使いいただくために必要な空き容量は次の通りです。

OASYS/Win CD-ROM版に必須な空き容量	ハードディスク容量
OASYS/Win	約16.0MB
文字パターン基本セット/Win	
CDView/Win	約 1.9MB

インストールオプションに必要な空き容量	ハードディスク容量
数式	約 0.3MB
推敲支援	約 1.3MB
StringPro	約 0.5MB
グラフィック連携	約 0.5MB
スクリプト	約 1.6MB
キーボード操作練習プログラム	約 0.5MB
OAK/Win	約 1.8MB

いずれも OASYS/Win他、OASYS/Winのインストールオプション単独の必要量です。MS-DOS、Windowsに必要な容量や、オプションの文字パターンの容量を含んでいません。ほかのソフトをお使いになる場合を考えて、メモリ、ハードディスクの容量には、余裕を持たせてください。

◆Microsoft® Windows™

「日本語 Microsoft® Windows™ V3.0 (V3.0A 相当)」または「Microsoft® Windows™ Version3.1」が必要です。これより古いバージョンでは動作しません。なお、お使いになる機種ごとの Windowsのレベルについては、パッケージの裏面をご確認ください。「README.DOC」の表示方法について詳しくは、「MS-DOS」のマニュアルを参照してください。

◆日本語MS-DOS®

お使いになるWindowsの動作に必要な版数のMS-DOSを用意してください。

本書では、Windowsの「セットアップ」(準備)が終わっていることを前提として説明します。Windowsに添付のマニュアルを参照し、セットアップを終わらせておいてください。

OASYS/Win CD-ROM版のインストールについて

購入されたOASYS/Winは、CD-ROMから直接は、ご使用になれません。必ずハードディスクにインストールして使用してください。

OASYS/Winのインストールディスクは、一度使用すると、そのままでは最初に使用したパソコン以外では再使用できなくなります。実際にご利用になるパソコンにインストールしてください。なお、アンインストール機能を使用して、パソコンからOASYS/Winを削除すると、インストールディスクを未使用の状態に戻すことができます。

アンインストールについて詳しくは、「インストールする前の状態に戻す(アンインストール)」(→P. 17)を参照してください。

文字パターン基本セットについて

OASYS/WinのCD-ROMに収められている「文字パターン基本セット」は、次の文字パターンやプログラムで構成されています。OASYS/Winをお使いになるには、必ずインストールしなければなりません。

◆表示/印刷用基本文字パターン

- OASYS/Winが表示および印刷で使用する基本文字パターンです。弊社が提供する拡張非漢字(例:①)を含んでいます。

◆フォントドライバ

- 弊社提供の文字パターン、ベクトル文字(Fontcityを除く)をサポートするフォントドライバです。
- LANで接続されたサーバマシンのハードディスクに格納された文字パターンを、各クライアントマシンから共用する機能も提供します。

◆別売の文字パターンインストールプログラム

- 本製品に含まれる基本文字パターン以外の、弊社提供の文字パターンおよびベクトル文字(いずれも別売、Fontcityを除く)をWindows上にインストールするためのプログラムです。
 - ▶ 弊社が提供する別売の文字パターン、ベクトル文字のうち、FM Rシリーズ、FM TOMNS以外で使用できる製品は限定されていますので、ご確認のうえお求めください。

◆ユーザ定義文字用ツール

ユーザ定義文字用ツールは、次の3つのプログラムで構成されています。

- 漢字フォントエディタ (KFE)
- ユーザ定義文字保存/復元ユーティリティ (SAVEFONT/RESTFONT)
- JEF 変換テーブル参照ユーティリティ (CHKJTBL)

それぞれの機能については、『OASYS/Win リファレンスマニュアル』を参照してください。

CDView/Winについて

OASYS/WinのCD-ROM内には、「CDView/Win」が収められています。CDView/WinはOASYS/Winをお使いの際に、CD-ROMで提供される各種CD辞書を検索、表示するソフトウェアです。検索、表示した内容は、OASYS/Winの文書中に取り込むことができます。本製品のオンラインリファレンスをお使いになるには、必ずインストールしなければなりません。CDView/Winについて詳しくは、「第5章 CDView/Winリファレンス」(→P. 53)を参照してください。

OAK/Win (OASYSかな漢字変換) について

OASYS/WinのCD-ROM内には、「OAK/Win (OASYSかな漢字変換)」が収められています。かな漢字変換プログラムとして OAK/Winをお使いになる場合は、CD-ROMからハードディスクにインストールしてご使用ください。

OAK/Winのインストール、文字の入力のしかたについては、『OAK/Winユーザズガイド』を参照してください。

その他のインストールオプションについて

OASYS/Win のCD-ROM内には、この他に次のような多くの機能が収められています。

これらの機能は、必要に応じてインストールしてご使用ください。

それぞれの機能を使うには、OASYS/Winの本体のインストール時に一括してインストールするか、個別に「INSTALL.EXE」コマンドを使ってインストールします。

◆数式

OASYS/Winにおいて、数学や物理などで使う複雑な数式を利用するためのソフトウェアです。数式のデータを数式入力画面で作成し、文書作成画面に数式を表示させます。複雑な添字、線、記号、ギリシャ文字などのさまざまな要素を含む数式が作成できます。

$$p_1(n) = \lim_{m \rightarrow \infty} \sum_{\nu=0}^{\infty} (1 - \cos^{2m}(\nu!^n \pi/n)) \quad \sin 18^\circ = \frac{1}{4}(\sqrt{5}-1)$$

◆推敲支援

QASYS/Winにおいて、より完成度の高い文章を作成、編集するために、用字・用語の統一や、誤字・脱字のチェック、また文章の読みやすさなどをチェックすることができるソフトウェアです。推敲支援には、作成／更新中の文書を推敲する「対話推敲」と、作成済みの文書を文書単位で推敲する「一括推敲」があります。

◆StringPro

文書中の文字を自由に配置できる機能をもったソフトウェアです。QASYS/Winなどのアプリケーション中へ配置加工した文字を貼り付けます。フォントの種類などを細かく設定でき、曲線や円に沿った文字配置や文字回転が可能です。

◆グラフィック連携

他のソフトウェアで作成したグラフィックデータを、QASYS2文書の枠の中に取り込むことができるソフトウェアです。取り込んだデータは、図形要素の集まりに変換され、線画として扱われます。

◆スクリプト

QASYS/Winに対するある一連の処理手順をデータ（スクリプト）として定義して、自動的に行わせる機能を提供するソフトウェアです。スクリプトのデータを作成するには、まずQASYS/Winで実際に操作した手順を記録します（スクリプト記録）。これに、条件判断などを追加したり、処理内容を修正したりして完成させます（スクリプト更新）。

◆キーボード操作練習

キーボードをより速く、正確に打てるようになるためのタイピング練習プログラムです。英字、数字、かな、およびかな漢字変換の練習ができます。キー配置の画面表示や誤打鍵記録、入力速度の記録などの機能もあります。

CD-ROMから直接呼び出すソフトウェアについて

次のソフトウェアについては、ハードディスクにインストールせずに、CD-ROMドライブにCD-ROMをセットして直接データを呼び出して使用します。

◆オンラインチュートリアル（→P. 42）

- チュートリアル 機能紹介編
- チュートリアル 操作練習編

◆オンラインリファレンス（→P. 42）

- QASYS/Win リファレンスマニュアル
- QAK/Win ユーザーズガイド

◆クリップアート集（→P. 83）

第 2 章

OASYS/Win CD-ROM版の準備



1. OASYS/Win CD-ROM版をインストールする…………… 8
2. インストールオプションを個別にインストールする…………… 15
3. インストールする前の状態に戻す (アンインストール) …… 17

1

OASYS/Win CD-ROM版をインストールする

▶OASYS/Win をハードディスクに登録する

OASYS/Winのプログラムは、ハードディスクに登録して使用します。ハードディスクに登録することを「インストール」といいます。ここでは、OASYS/Winやその他のオプションを一括してインストールする方法を説明します。

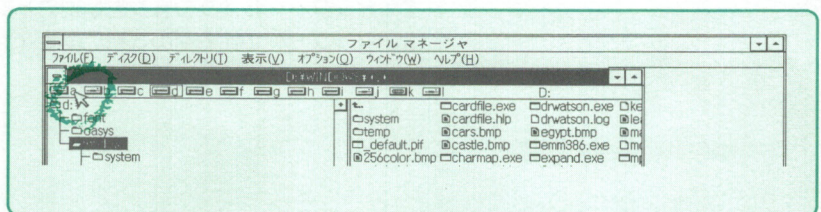
確認

- インストール先のドライブには、あらかじめインストールするソフトウェアに応じた空き容量が必要です。詳しくは「必要なハードウェア・ソフトウェア」(→P. 2)を参照してください。

インストールプログラムを起動する

操作

- 1 Windowsを起動する。
- 2 OASYS/WinのCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする。
▶CD-ROMドライブの設定については、CD-ROMドライブに添付のマニュアルを参照してください。
- 3 「プログラムマネージャ」の「メイン」から「ファイルマネージャ」を起動する。
- 4 OASYS/Winの「インストールディスク」を、フロッピーディスクドライブにセットする。
▶本書では、仮にドライブAとします。
▶このとき、フロッピーディスクのプロテクトは、はずしてください。
- 5 ドライブ「A」の、ファイルの一覧を表示する。



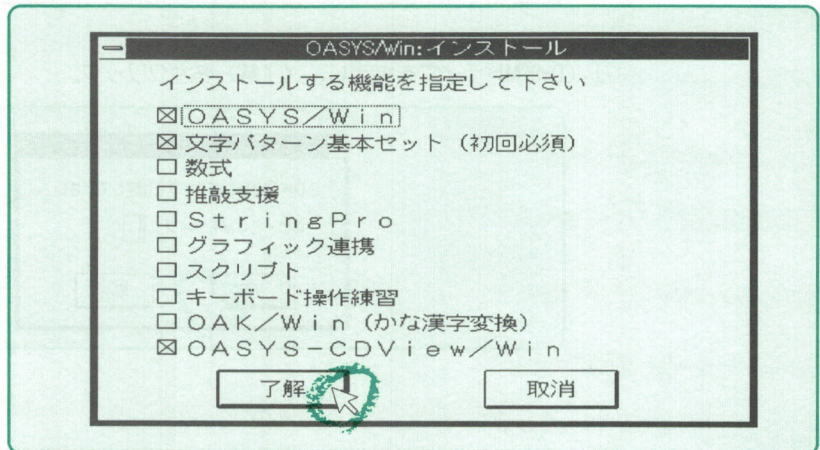
インストールするオプションを選択する

確認

- 「文字パターン基本セット」と「CDView/Win」は必ずインストールしてください。

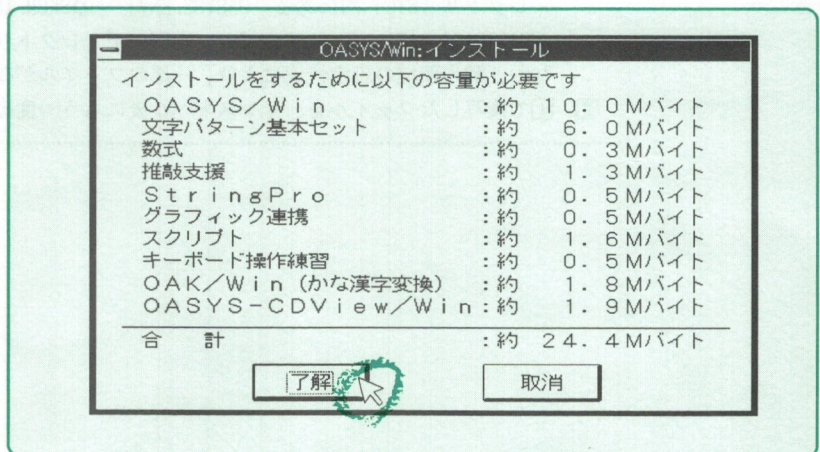
操作

- OASYS/Winと同時にインストールするオプションを選択し、〈了解〉を左クリック。



- ▶ここで選択したオプションは、OASYS/Win本体のインストールが終了すると、続けてインストールされます。

- 指定内容を確認し、〈了解〉を左クリック。



- ▶選択したオプションに必要な容量が表示されます。
- ▶インストール先のドライブ名とディレクトリを指定するダイアログボックスが表示されます。

注意

- すでに「文字パターン基本セット」がインストールされているパソコンに再度インストールを行うと「フォントドライバが導入済みです。」とメッセージが表示されます。この場合は、メッセージに従ってフォントドライバの導入を解除し、Windowsを再起動させてから□の操作をやり直してください。

参考

- ドライブの空き容量を確認する方法
 - ・「ファイルマネージャ」を使って確認する。
 - ・「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSの「DIR」コマンドで確認する。
 - ・MS-DOSの「DISKPAT」または「SETUP2」コマンドで確認する。
 容量が足りない場合には、不要なファイルを削除するか、区画の設定をやり直してください。

いずれも、操作方法については、「Windows」および「MS-DOS」のマニュアルを参照してください。
- インストールオプションは、後から個別にインストールすることもできます。詳しくは、「インストールオプションを個別にインストールする」(→P. 15)を参照してください。

インストール先ドライブとディレクトリを指定する

操作

- OASYS/Winのインストール先ドライブ名とディレクトリ名を入力し、〈インストール〉を左クリック。

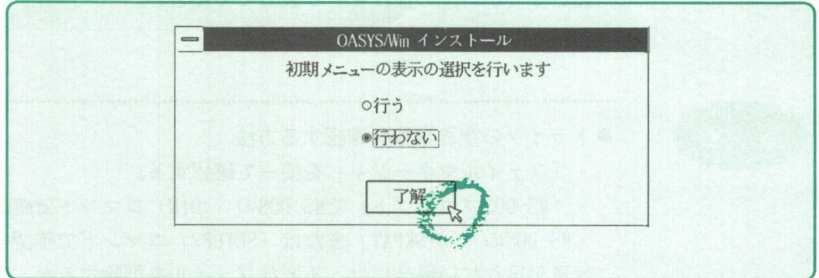


- ▶ドライブ名、ディレクトリ名は、半角で入力します。大文字でも小文字でもかまいません。ディレクトリ名について詳しくは、「MS-DOS」のマニュアルを参照してください。

初期メニューの表示を選択する

操 作

- 初期メニューの表示を選択し、〈了解〉を左クリック。



- ▶ 「行う」を選択すると、OASYS/Winを起動した際、まず最初に初期メニューを表示します。
- ▶ 「行わない」を選択すると、OASYS/Winを起動した際、直接、文書作成画面を表示します。

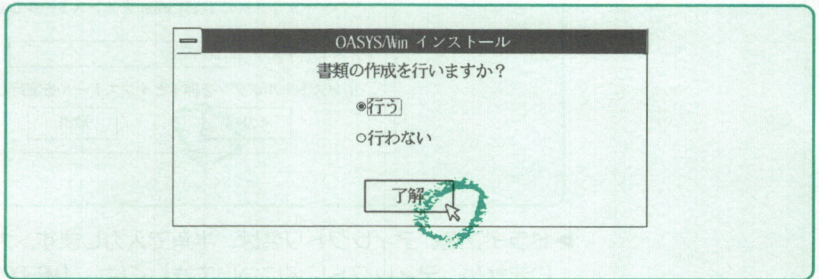
参 考

- 初期メニューの表示は、OASYS/Winのインストール後に、「補助」の「動作環境」(→オンラインリファレンス)で変更できます。

書類を作る

操 作

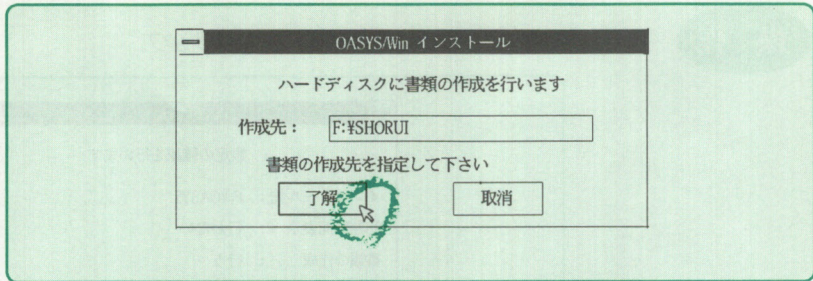
- 書類を作成するかどうかを選択し、〈了解〉を左クリック。



- ▶ ハードディスクに文書を保存する場合は、「行う」を選択します。
- ▶ フロッピィディスクのみに文書を保存する場合は、「行わない」を選択します。

2 ①で「行う」を選択した場合のみ操作

書類を作成するドライブ名とディレクトリ名を入力し、〈了解〉を左クリック。



▶ドライブ名、ディレクトリ名は、半角で入力します。大文字でも小文字でもかまいません。ディレクトリ名について詳しくは、「MS-DOS」のマニュアルを参照してください。

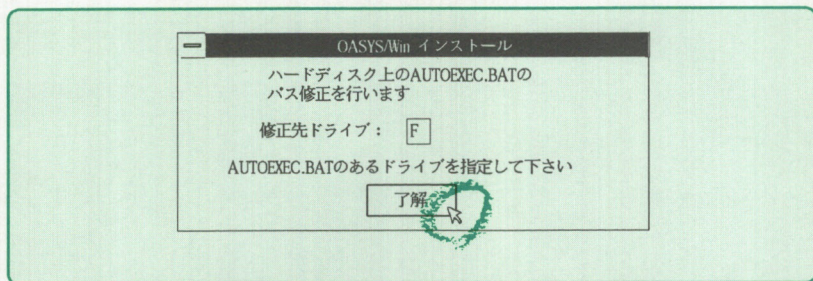
参考

- レベルアップなどで、OASYS/Winを再度インストールしても、作成済みの書類は、そのまま保存されます。再度インストールする場合は、書類の作成を「行わない」を選択してください（→オンラインリファレンス）。
- OASYS/Winのインストール後に、「補助」の「書類管理」（→オンラインリファレンス）で書類を作成できます。また、インストール時に作成した書類の他に、別の書類も作成できます。

AUTOEXEC.BATのあるドライブを指定する

操作

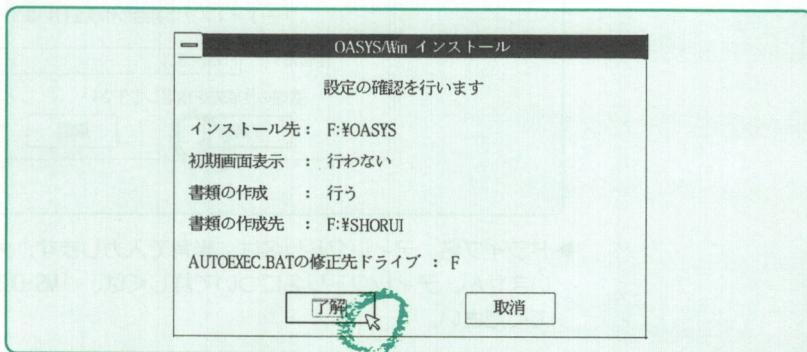
- ① AUTOEXEC.BATが存在するドライブを入力し、〈了解〉を左クリック。



指定内容を確認する

操 作

- ① 指定内容を確認し、〈了解〉を左クリック。



- ▶ 指定を変更する場合は、〈取消〉を左クリックし、「インストールするオプションを選択する」(→P. 10)から、操作をやり直します。
- ▶ インストールが開始されます。

- ② インストールが終了すると、『OASYS』のグループに「OASYS」のアイコンが表示される。

- ▶ インストールが終わると、終了のメッセージが表示されます。
- ▶ オプションの同時インストールを指定している場合は、続けてオプションをインストールするよう、メッセージが表示され、続けて選択したオプションのインストールが始まります。

2

インストールオプションを個別にインストールする

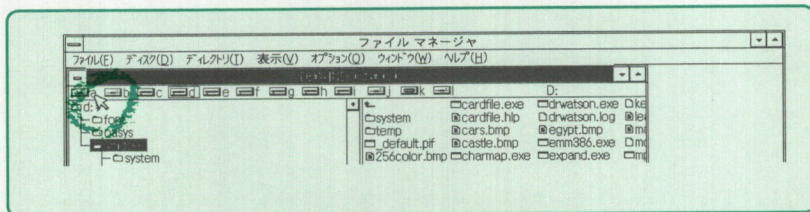
▶一括インストールをしない場合、それぞれのインストールオプションを、個別にインストールできます。

確認

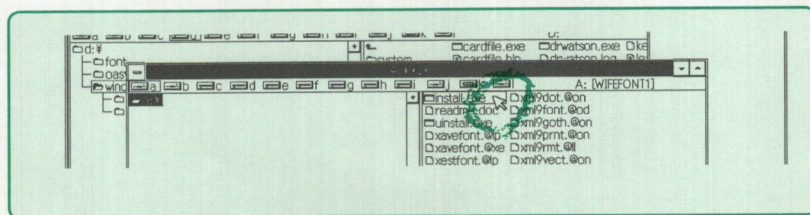
- あらかじめ、OASYS/Winをインストールしておきます。

操作

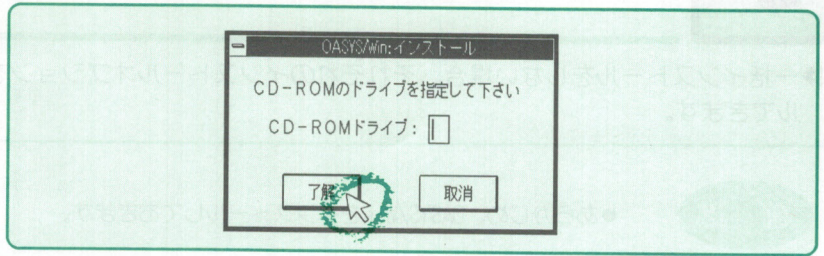
- 1 Windowsを起動する。
- 2 OASYS/WinのCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする。
▶CD-ROMドライブの設定については、CD-ROMドライブに添付のマニュアルを参照してください。
- 3 「プログラムマネージャ」の「メイン」から「ファイルマネージャ」を起動する。
- 4 OASYS/Winの「インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。
▶本書では、仮にドライブAとします。
▶このとき、フロッピーディスクのプロテクトは、はずしてください。
- 5 ドライブ「A」の、ファイルの一覧を表示する。



- 6 ファイルの一覧から、「INSTALL.EXE」を左ダブルクリック。
▶インストールプログラムが起動します。



- 7 CD-ROMドライブを指定し、〈了解〉を左クリック。



- 8 インストールするオプションを選択し、〈了解〉を左クリック。
▶画面に表示されるメッセージに従って、インストールしてください。
▶このとき、再度 OASYS/Winを選択してインストールすると、OASYS/Winの動作環境は初期状態に戻ります。

3

インストールする前の状態に戻す（アンインストール）

▶ OASYS/Winをインストールしたハードディスクを、インストール前の状態に戻します。
また、インストールに使用したインストールディスク（フロッピー）をインストール前の未使用の状態に戻します。

操作

- ① Windowsを起動し、「プログラムマネージャ」の「メイン」から「ファイルマネージャ」を起動する。
- ② OASYS/Winの「インストールディスク」を、フロッピーディスクドライブにセットする。
- ③ OASYS/WinのCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする。
- ④ ファイルマネージャの画面で、CD-ROMのOASYSディレクトリ内のファイルの一覧を表示させる。
- ⑤ 「UINSTALL.EXE」を左ダブルクリック。
- ⑥ 「インストールディスク」をセットしたフロッピードライブ名を指定する。
- ⑦ OASYS/Winのプログラムが格納されているディレクトリおよびAUTOEXEC.BATのドライブを確認する。
- ⑧ 〈了解〉を左クリック。
 - ▶ インストールされたファイルが削除されます。
 - ▶ インストール時に作成されたディレクトリが、削除されます。
 - ▶ インストールディスク（フロッピー）が未使用状態に復元されます。

取消

- 操作⑥で〈取消〉を左クリック⇔アンインストールを始める前の状態。

注意

- OASYS/Winがインストールされていたディレクトリに、OASYS/Win以外のプログラムやデータが存在する場合には、ディレクトリは削除されません。
- 文字パターン基本セットや数式、推敲支援などのインストールオプションについては、CD-ROM内にディレクトリが分かれてアンインストールプログラム(UINSTALL.EXE)が用意されています(OASYS/Winを除く)。アンインストールするオプションごとに「UINSTALL.EXE」を実行してください。

第 3 章

OASYS/Winの基本操作



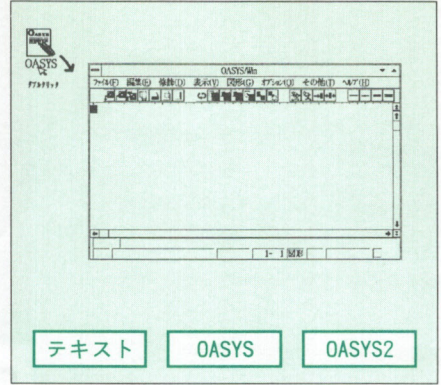
1. OASYS/Winの起動と終了	20
2. 文書作成画面の見方	22
3. ツールバーの使い方	24
4. プルダウンメニュー	26
5. 範囲の指定方法	28
6. 基本的な編集操作の流れ	32
7. ダイアログボックスの設定方法	33
8. 書類や文書を選ぶ	35
9. 文書の保存のしくみ	39

1

OASYS/Winの起動と終了

▷OASYS/Winの始め方と終わり方について

「起動」とは、Windowsの「プログラムマネージャ」からOASYS/Winを始めることをいいます。また、「終了」とは、OASYS/Winの文書作成画面からWindowsの「プログラムマネージャ」に戻ることをいいます。



OASYS/Winを始める

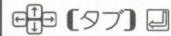
[起動]

確認

- Windowsを起動しておきます。

操作

- 1 プログラムマネージャの「OASYS/Win」のアイコンを左ダブルクリック。
▶起動処理中は、OASYS/Winのプロフィール画面が表示されます。
- 2 補助の「文書形式/文書ドライブ指定」を「実行時指定」に設定している場合
「文書形式/文書ドライブ指定」(→P. 37)のダイアログボックスの各項目を設定し、〈了解〉を左クリック。
OASYS/Winのインストール時に「初期メニューの表示を選択する」で「行う」を選択している場合のみ操作
「初期メニュー」(→オンラインリファレンス)から「作成」を選択。
- 3 OASYS/Winの文書作成画面が表示される。




参考

- 「初期メニュー」の表示を行うかどうかは、補助の「動作環境」(→オンラインリファレンス)で後から変更できます。

OASYS/Winを終了する

操 作

- ① 【終了】を選択。
 - ▶ 文書を保存してある場合は、そのまま文書作成画面が消えてプログラムマネージャに戻ります。
- ② 文書を保存していない場合のみ操作
 - 「保存確認」のダイアログボックスから、保存方法を設定。
 - ▶ 保存方法の詳細→「保存」(→オンラインリファレンス)
 - ▶ 「保存」を選択した場合は、文書が保存されたあと、プログラムマネージャに戻ります。

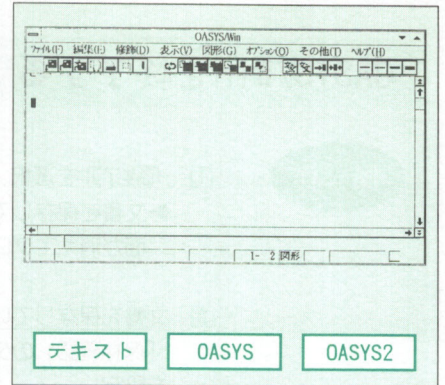
【終了】

2

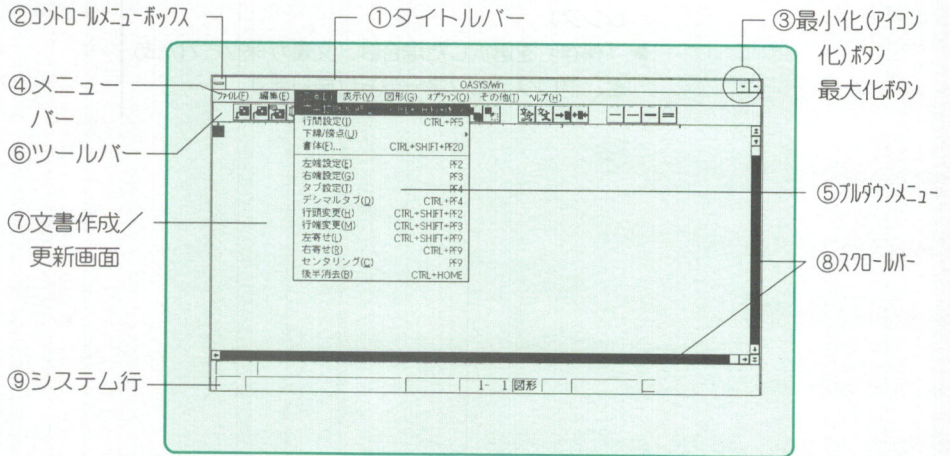
文書作成画面の見方

▶ 文書作成画面

文書作成画面で文書の作成や編集ができます。ここでは、文書作成画面の構成と、その機能について説明します。



操作



項目	項目の内容
①タイトルバー	「OASYS/Win」と文書題名が表示されます。
②コントロールメニューボックス	タイトルバーの上に表示されます。ウィンドウの表示状態などを操作できます。詳しくは、Windowsに添付のマニュアルを参照してください。
③最小化(アイコン化)ボタン 最大化ボタン	タイトルバーの上に表示されます。ウィンドウを最小化、最大化します。
④メニューバー	OASYS/Winの機能の大分類が表示されます。
⑤プルダウンメニュー	メニューバーの各項目に関連した機能(コマンド)が表示されます(「プルダウンメニュー」(→P. 26))。
⑥ツールバー	文書を作成、更新するときに使用する機能(コマンド)を、簡単に指定できるアイコンです(「ツールバー」(→P. 24))。
⑦文書作成/更新画面	文書を作成、更新します。
⑧スクロールバー	文書作成画面に表示されていない部分を表示します(「スクロールバー」(→オンラインリファレンス))。
⑨システム行	カーソル位置のページや行、「編集モード」などを表示します。

参 考

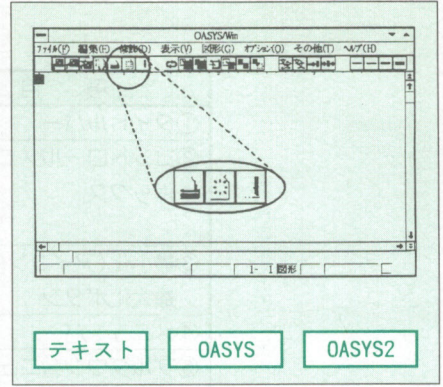
- 文書作成の基本操作については、「基本的な編集操作の流れ」(→P. 32)を参照してください。
- 次の項目は、補助の「動作環境」(→オンラインリファレンス)で画面に表示しないように設定することができます。
 - ・ タイトルバー (タイトルバーの上に表示されているものも含む)
 - ・ メニューバー
 - ・ ツールバー
 - ・ スクロールバー

3

ツールバーの使い方

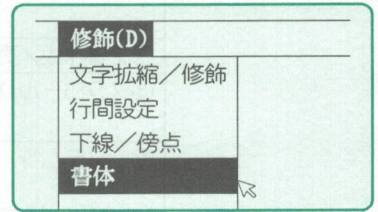
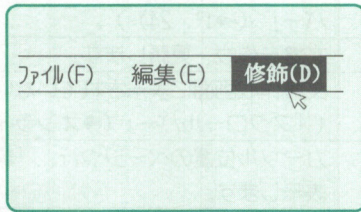
▶ ツールバーとは

文書を作成、更新するときに、使用するコマンドを簡単に指定できる機能です。ここでは、OASYS/Winにあらかじめ用意されている「基本形式」のツールバーを例に説明します。

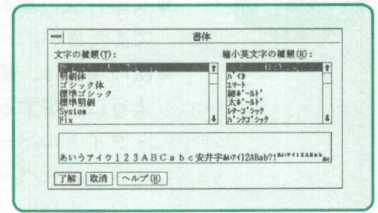
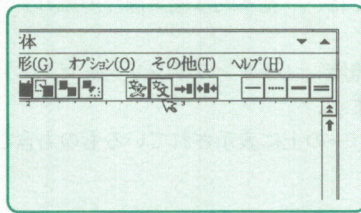


サンプル

プルダウンメニューからコマンドを選択する場合



ツールバーから機能を選択する場合



操作

使用する機能に対応しているアイコンを左クリック。

▶以降の操作は、メニューバーからコマンドを選択した場合と同じです。

注意

- ツールバーのアイコンは、キーボードからは選択できません。

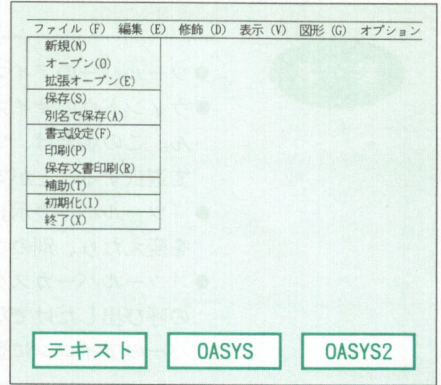
参考

- ツールバーのアイコンについて詳しくは、『ハンドブック』を参照してください。
- ウィンドウのサイズが小さい場合は、ツールバーにすべてのアイコンが表示できません。この場合は、ツールバー内の矢印を左クリックして、アイコンをスクロールさせて選択することができます。
- 「ツールバー表示」(→オンラインリファレンス)を使って、ツールバーの表示位置を変えたり、別のウィンドウに表示することもできます。
- 「ツールバーカスタマイズ」(→オンラインリファレンス)を使って、単にコマンドの呼び出しだけでなく、パラメータを指定したコマンドや、一連の操作手順をツールバーのアイコンに登録することができます。

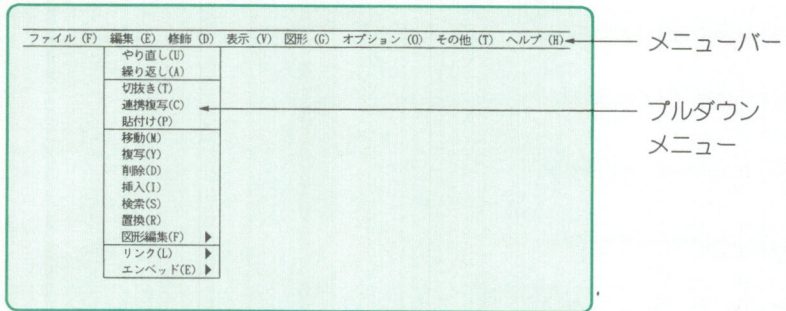
4

プルダウンメニュー

OASYS/Winの各機能（コマンド）は、プルダウンメニューから選択することができます。なお、キーに割り当てられているコマンドは、プルダウンメニューを使わずに直接キーで指定することもできます。



サンプル



操作

■マウスの場合

- ① メニューバーのメニュー項目名にマウスポインタを合わせて左クリック。
- ② プルダウンメニュー内の、使用するコマンド名にマウスポインタを合わせて左クリック。

■キーボードを使ってコマンドを選択する場合

- ① 【メニュー】を押す。
- ② メニューバーのメニュー項目名を反転表示させて、【↓】を押す。
- ③ プルダウンメニュー内の、使用するコマンド名を反転表示させて、【Enter】を押す。

【メニュー】



取消

■ キーボードを使ってコマンドを選択する場合

- 操作2で【取消】を押す ⇨ 処理を始める前の状態。
- 操作3で【取消】を押す ⇨ 前の操作。

参考

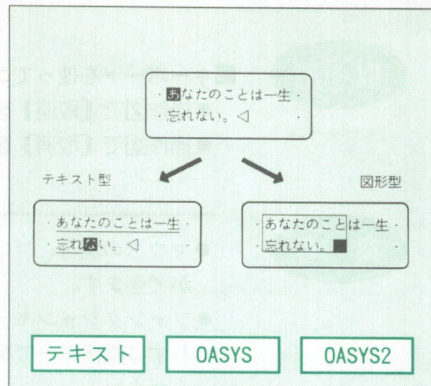
- マウスの場合、「ドラッグ」で、メニューの指定とコマンドの選択を一度に行うことができます。
- ファンクションキーなどに割り当てられているコマンドは、プルダウンメニューを使わずに直接キーで指定することもできます。詳しくは、『ハンドブック』を参照してください。

5

範囲の指定方法

▶ 範囲選択

移動や複写など、使用する機能によっては、処理の対象となる範囲を指定する場合があります。範囲の指定には、文字単位で指定する方法（テキスト型）と、四角で囲んで範囲を指定する方法（図形型）があります。

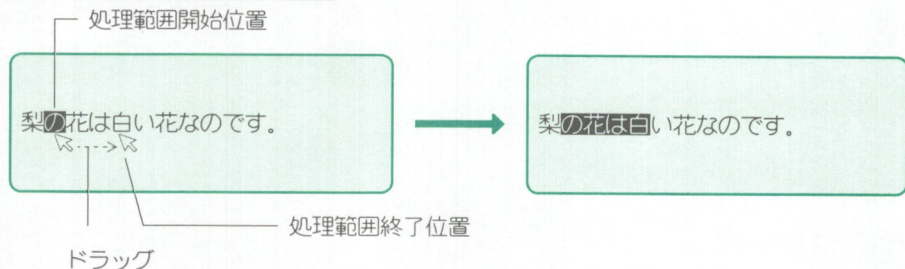


文字単位で範囲を指定する

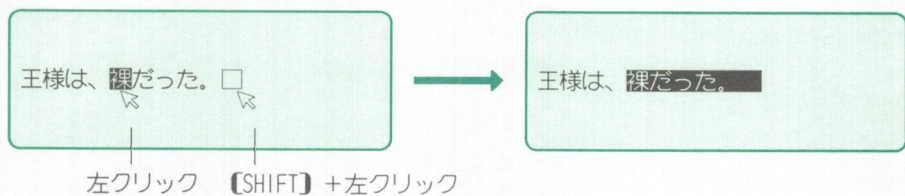
[テキスト型]

サンプル

ドラッグして範囲を指定する場合



2点を左クリックして範囲を指定する場合



操 作

■ ドラッグして範囲を指定する場合

- ① 選択型をテキスト型にする。
 ▶ 画面下に「_」が表示されます。
 ▶ 選択型の詳細→「選択型変更」(→オンラインリファレンス)
- ② 指定する範囲の先頭（または末尾）の文字にカーソルを移す。
- ③ 指定する範囲をドラッグ。



【範囲選択】

■ 2点を左クリックして範囲を指定する場合

- ① 選択型をテキスト型にする。
- ② 指定する範囲の先頭（または末尾）にカーソルを移し、左クリック。
- ③ 指定する範囲の末尾（または先頭）にマウスポインタを合わせ、【SHIFT】を押しながら左クリック。



【範囲選択】

取消

■ ドラッグして範囲を指定した場合

- 操作③中または後に右クリック⇨指定した範囲の取り消し。

■ 2点を左クリックして範囲を指定した場合

- 操作③後に右クリック⇨指定した範囲の取り消し。

参考

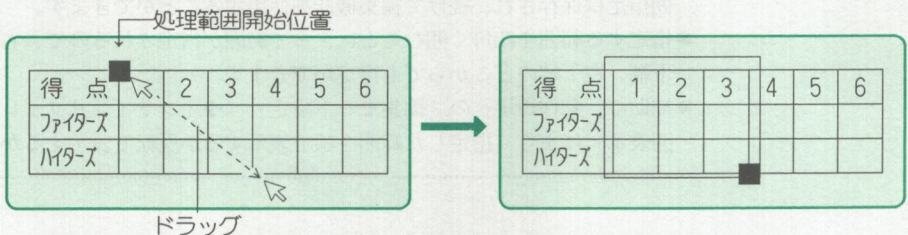
- コマンドを選択したあと、範囲を指定することもできます。
- 範囲指定後に新たな範囲指定を始めると、直前に指定した範囲は取り消されます。
- 一度指定した範囲に対して文字の修飾のコマンドを行った場合、コマンド実行後も範囲指定は保存され、続けて編集機能を使用することができます。
- 補助の「動作環境」の設定により、処理の対象となる範囲が変わります。詳しくは、「カーソル位置と選択範囲の関係」(→P. 30)を参照してください。
- 補助の「動作環境」の「編集モード設定」(→オンラインリファレンス)の「選択範囲表示」により、指定した範囲を下線で表示するか反転で表示するかを選択できます。

四角で囲んで範囲を指定する

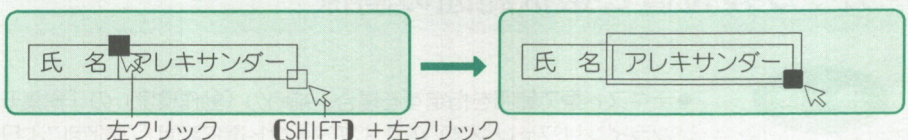
【図形型】

サンプル

ドラッグして範囲を指定する場合



2点を左クリックして範囲を指定する場合



操作

■ドラッグして範囲を指定する場合

- ① 選択型を図形型にする。
▶画面下に「□」が表示されます。
▶選択型の詳細→「選択型変更」(→オンラインリファレンス)
- ② 指定する範囲の左上端にカーソルを移す。
- ③ 指定する範囲をドラッグ。



【範囲選択】

■2点を左クリックして範囲を指定する場合

- ① 選択型を図形型にする。
- ② 指定する範囲の左上端にカーソルを移し、左クリック。
- ③ 指定する範囲の右下端にマウスポインタを合わせ、**【SHIFT】**を押しながら左クリック。



【範囲選択】

取消

■ドラッグして範囲を指定した場合

- 操作③中または後に右クリック⇔指定した範囲の取り消し。

■2点を左クリックして範囲を指定した場合

- 操作③後に右クリック⇔指定した範囲の取り消し。

参考

- コマンドを選択したあと、範囲を指定することもできます。
- 範囲指定後に新たな範囲指定を始めると、直前に指定した範囲は取り消されます。
- 一度指定した範囲に対して文字の修飾のコマンドを行った場合、コマンド実行後も範囲指定は保存され、続けて編集機能を使用することができます。
- 指定する範囲を四角く囲むことによって範囲が指定されるので、右上端、左上端、右下端、左下端のどこからでも指定ができます。
- 補助の「動作環境」の「編集モード設定」(→オンラインリファレンス)の「選択範囲表示」により、指定した範囲を線で表示するか反転で表示するかを選択できます。

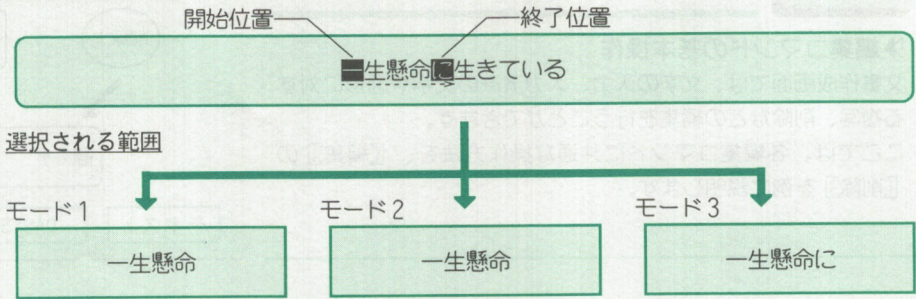
カーソル位置と選択範囲の関係

機能

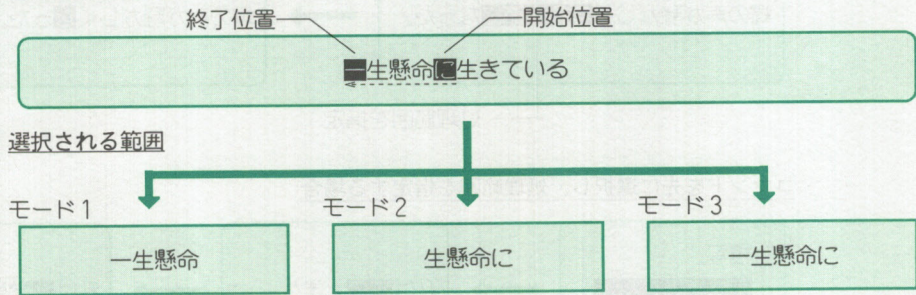
- テキスト型で範囲を指定する場合、補助の「動作環境」の「編集モード設定」(→オンラインリファレンス)の「オブジェクト選択範囲」の設定により、対象となる範囲が違います。

サンプル

■範囲の先頭から指定した場合
画面での指定範囲



■範囲の最後から指定した場合
画面での指定範囲



項目

○：処理の対象になる ×：処理の対象にならない

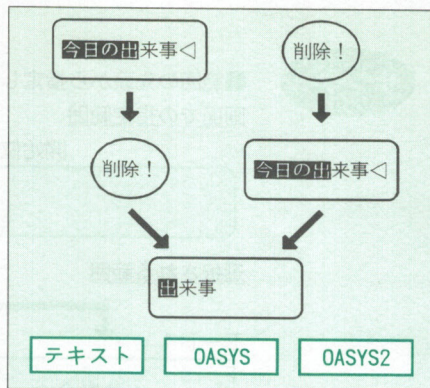
範囲の指定方向	「オブジェクト選択範囲」の設定	開始位置	終了位置
範囲の先頭から指定 (左から右へ指定)	モード1	○	×
	モード2	○	×
	モード3	○	○
範囲の最後から指定 (右から左へ指定)	モード1	×	○
	モード2	○	×
	モード3	○	○

6

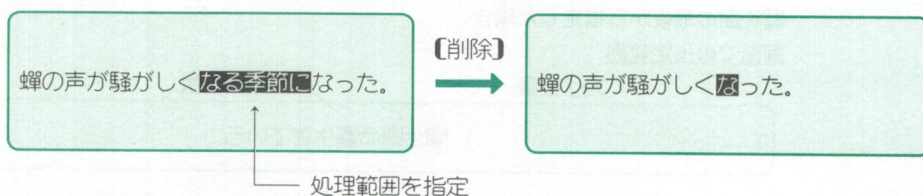
基本的な編集操作の流れ

▶ 編集コマンドの基本操作

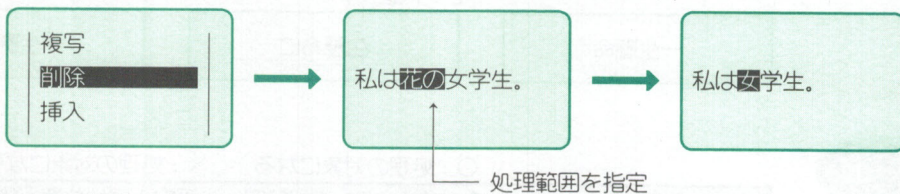
文書作成画面では、文字の入力、入力済みの文字や図形に対する複写、削除などの編集を行うことができます。ここでは、各編集コマンドに共通な操作方法を、『編集』の『削除』を例に説明します。



処理範囲を先に指定し、コマンドを実行する場合



コマンドを先に選択し、処理範囲を指定する場合



操作

■ 処理範囲を先に指定する場合

- ① 処理の対象となる範囲を指定。
- ② メニューバーの『編集』から『削除』を選択。

【範囲指定】

【削除】

■ コマンドを先に選択する場合

- ① メニューバーの『編集』から『削除』を選択。
- ② 処理の対象となる範囲を指定。

【削除】

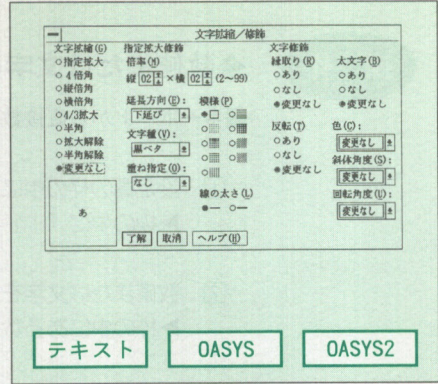


参考

- 範囲の指定方法について詳しくは、「範囲の指定方法」(→P. 28)を参照してください。

7

ダイアログボックスの設定方法



▶ダイアログボックス

ダイアログボックスの設定方法には、数値（文字）入力式的設定と選択式的設定があります。

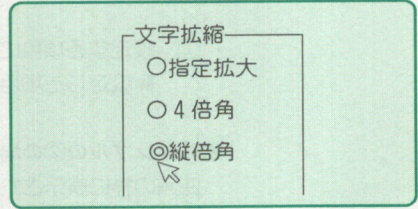
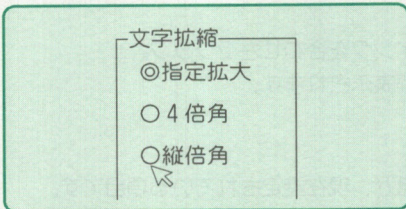
サンプル

■数値または文字の入力式的設定欄

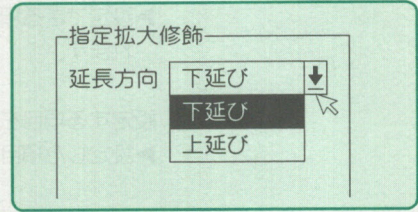
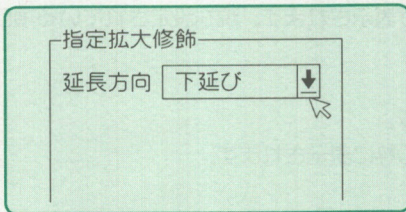
ファイル名 (N) : 1 ページの行数 (1 ~ 254)

■選択式的設定欄

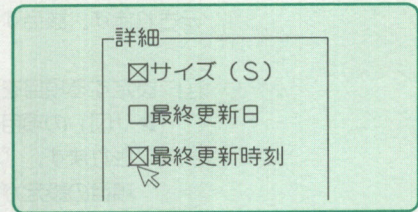
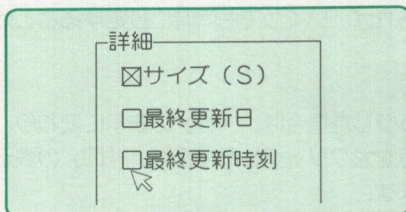
①



②



③



操 作

◆数値または文字の入力式の設定欄の場合

■キーボードから直接数値や文字を入力する場合

- ① 設定欄の枠の中にマウスポインタを合わせ左クリック。
▶枠の中に「|」状のカーソルが表示されます。
- ② 数値または文字を入力する。
▶枠の中にある数値や文字は、【削除】または【後退】を使って削除できます。

◆数値を設定する欄に $\downarrow\uparrow$ がある場合

数値を設定する欄に $\downarrow\uparrow$ があるとき、その矢印を左クリックすると数値が変わります。
 \uparrow で数値は大きくなり、 \downarrow で数値は小さくなります。また、マウスのボタンを押し続けると連続して数値が増減します。

◆選択式の設定欄の場合

■(a)サンプルの①の場合

「◎」「○」が表示されています。「◎」が現在設定されている項目です。

- ① 設定する項目にマウスポインタを合わせ左クリック。
▶設定した項目に「◎」が表示されます。

■(b)サンプルの②の場合

四角の枠に表示されている項目が、現在設定されている項目です。

- ① 四角の枠の横にある「 \downarrow 」を左クリック。
▶設定できる項目の一覧が表示されます。現在設定されている項目は、反転表示されます。
- ② 設定する項目を左クリック。
▶設定した項目が、四角の枠に表示されます。

■(c)サンプルの③の場合

設定されている項目には「☒」が表示されます。設定されていない場合には「□」が表示されます。該当する項目であれば、いくつでも同時に設定することができます。

- ① 設定する項目を左クリック。
▶「□」の項目を左クリックした場合は、「☒」の表示に変わり、その項目が設定されます。「☒」の項目を左クリックした場合は、「□」の表示に変わり、その項目の設定が解除されます。

注 意

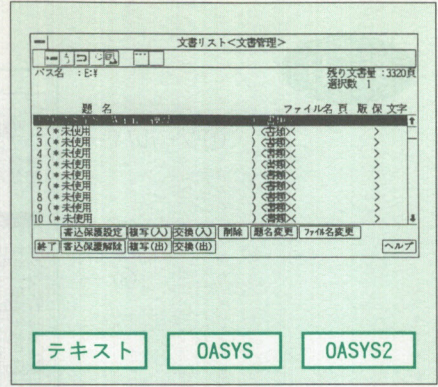
- 数値を入力する場合は、半角文字が入力できる状態にしてから入力します。

8

書類や文書を選ぶ

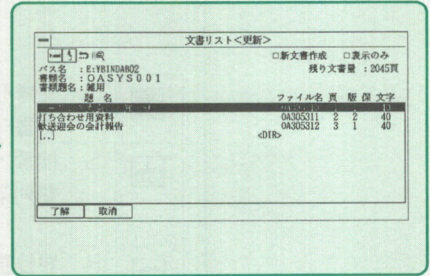
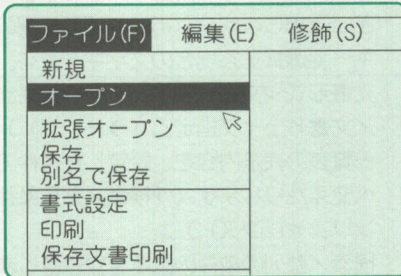
▶ 一覧表の基本操作

書類リストや文書リストなどを総称して一覧表と呼びます。
ここでは、一覧表からの文書などの選択方法を説明します。





一覧表から書類や文書を選択する

サンプル



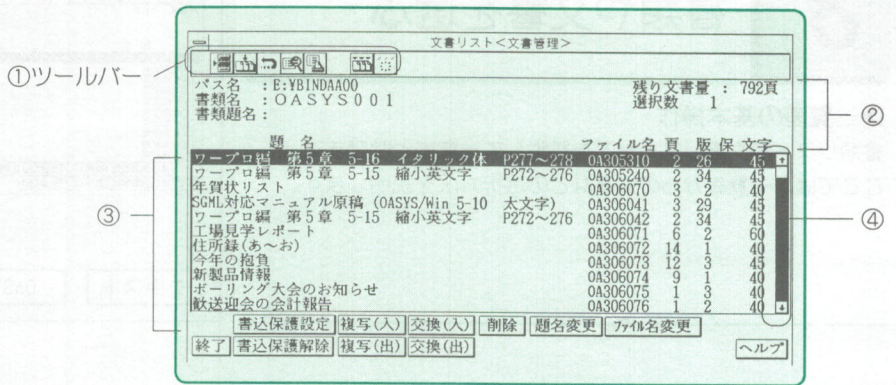
操作

- 指定する文書にマウスポインタを合わせ左クリック。
▶ 指定した項目は反転表示になります。
- 〈了解〉を左クリック。

取消

- 操作②で〈取消〉を左クリック⇒文書作成画面に戻る。

項目



項目	項目の内容
① ツールバー	表示されている一覧表に対して、各種の処理を行うときに選択します。なお、「項目」欄の英字は、機能をキーで選択する場合の文字キーです。
D	文書形式／文書ドライブ指定 文書形式や文書ドライブを切り換えます（「文書形式／文書ドライブ指定」（→P. 37））。
S	検索／整列条件設定 一覧表の表示内容を、設定した条件で検索したり、並び変えたりします（「検索／整列条件」（→オンラインリファレンス））。
R	やり直し 検索／整列の条件の設定をやり直します（「やり直し」（→オンラインリファレンス））。
E	拡張表示 文書の詳細な情報を表示します（「拡張表示」（→オンラインリファレンス））。 横スクロールにより、表示きれない情報を表示できます。
P	一覧表印刷 一覧表を印刷します（「一覧表印刷」（→オンラインリファレンス））。
A	全選択 選択できる項目をすべて選択します（「全選択」（→オンラインリファレンス））。 選択できる文書は、最大 512件です。
N	全解除 選択されている項目をすべて解除します（「全解除」（→オンラインリファレンス））。
②	パス名、書類名、フロップィ名、残り文書量、残りディスク容量などを表示します。 ▶テキストファイルの一覧表の場合は、この部分にパス名やファイル名の入力欄が表示されます。この入力欄にパス名などを入力して、選択することもできます。
③	文書やイメージの題名、ファイル名などの情報を一覧表（リスト）にして表示します。
④	題名などの情報の一覧（③）の部分画面に表示きれないときに、表示内容を切り換えます（「スクロールバー」（→オンラインリファレンス））。

活用法

■複数の項目を指定するとき

「保存文書印刷」や補助の「文書管理」では、一覧表で複数の文書を選択できます。一覧表が表示されたあと、指定する項目にマウスポインタを合わせ、【CTRL】を押しながら左クリックします。また、指定する項目が連続して並んでいる場合は、ドラッグまたは【SHIFT】を押しながら左クリックで指定することもできます。

なお、指定済みの項目（反転表示）の指定を取り消すときは、その項目にマウスポインタを合わせ、再度【CTRL】を押しながら左クリックします。



- すべての文書を指定する場合や、指定した文書をすべて取り消す場合は、「全選択」や「全解除」を使うと便利です（「全選択、全解除」（→オンラインリファレンス））。

注意

- 「保護」の欄に「有」と表示されている文書は、更新での文書の置き換えや文書削除ができません。詳しくは、「書込保護設定/解除」（→オンラインリファレンス）を参照してください。

ツールバーについて

- 使用するコマンドにより、表示されないアイコンがあります。
- 選択できないアイコンは、グレーで表示されます。
- キーボードでは選択できません。

参考

- 左ダブルクリックで項目を指定することもできます。
- 複数の文書を選択しているときは、残り容量の下に、選択した文書数が表示されます。

文書形式、文書ドライブを指定する

〔文書形式/文書ドライブ指定〕

サンプル

OASYS2文書の一覧表




題名	ファイル名	頁	原	文字
保存状況サンプル	04306010	1	2	40



テキストの一覧表

題名	ファイル名	頁	原	文字	選択数
04306010.TXT	2248	BYTES	93/06/01	09:07	
04306100.DOC	2726	BYTES	93/05/31	18:11	
04306011.TXT	9126	BYTES	93/06/01	09:55	
04304270.DOC	5887	BYTES	93/04/27	09:57	
04303100.FMT	6909	BYTES	92/04/07	20:22	
04303101.DOC	9708	BYTES	93/05/31	18:13	
04306012.TXT	2568	BYTES	93/05/31	18:14	
04306270.FMT	1792	BYTES	93/04/27	09:57	
04306013.TXT	27039	BYTES	93/05/10	13:55	
04306014.TXT	971	BYTES	93/03/09	13:22	

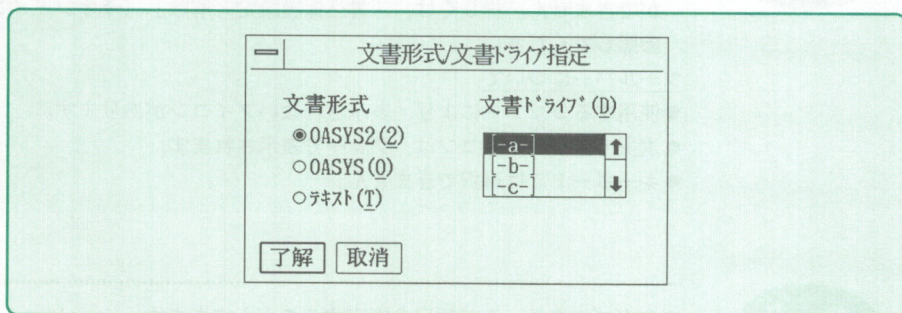
操作

- ① ツールバーの「 (文書形式/文書ドライブ指定)」のアイコンを左クリック。
- ② 「文書形式/文書ドライブ指定」の各項目 (→項目)  (タブ)  を設定し〈了解〉を左クリック。
▶設定方法の詳細→「ダイアログボックスの設定方法」(→P. 33)

取消

- 操作②中で〈取消〉を左クリック⇔アイコンを選択する前の状態。

項目



項目	項目の内容
文書形式	処理の対象とする文書の形式を設定します。
OASYS2文書	OASYS2文書形式の文書を扱うときに設定します。
OASYS文書	OASYS文書形式の文書を扱うときに設定します。
テキスト	テキストファイルを扱うときに設定します。
文書ドライブ	処理の対象となる文書が保存されているドライブを設定します。

注意

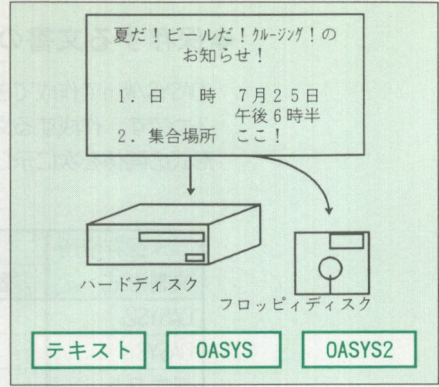
- FM-OASYSのハードディスクの文書は指定できません。

9

文書の保存のしくみ

▶保存

作成または修正した文書は、ハードディスクまたはフロッピーに保存します。また、OASYS/Winでは、文書をわかりやすく分類して保存するための「書類」を作成することもできます。



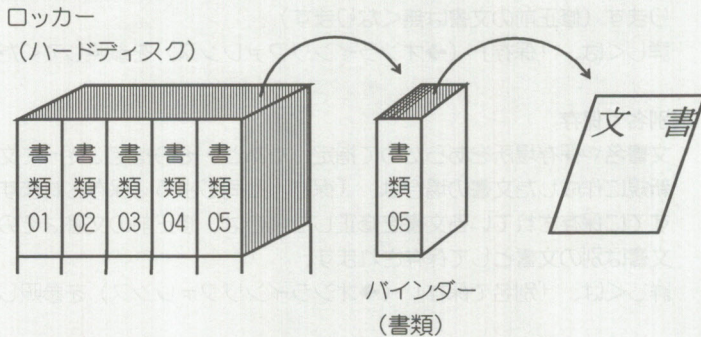
機能

◆文書の保存場所について

作成した文書の保存場所については、大きく分けてハードディスクとフロッピーディスクの2つがあります。

■ハードディスクに保存する

ハードディスクには、「書類」を作成できます。書類の実体は、通常のディレクトリと同じですが、書類には日本語の題名を付けたり、暗証番号を設定したりすることができます。書類ごとに、保存する文書の内容を区別して、文書を分類しておくくと便利です。



書類は、OASYS/Winのインストール時の指定、または補助の「書類作成」(→オンラインリファレンス)で作成します。

なお、書類以外の通常のディレクトリにも文書を保存することができます。

■フロッピーに保存する

フロッピーに保存する場合は、フロッピーを初期化しておきます。

文書を保存できるフロッピーは次のとおりです。

- ・MS-DOSで初期化したフロッピー。
- ・OASYSシリーズや、補助の「OASYS文書フロッピー作成」(→オンラインリファレンス)で初期化したフロッピー (OASYS文書フロッピーといいます)。

◆保存する文書の形式と保存場所の関係について

OASYS/Winで作成できる文書の形式は、「OASYS2文書」「OASYS文書」「テキスト」の3つです。作成する文書の形式によって、保存できる場所が違います。保存場所と文書形式の関係を示します。

○：保存可 ×：保存不可

保存場所 文書形式	ハードディスク		フロッピー	
	書類	書類以外	OASYS	MS-DOS
OASYS2	○	○	×	○
OASYS	○*1	○	○	×
テキスト	○*2	○	×	○

*1 FM-OASYSの書類に保存することはできません。

*2 保存時には、書類も通常のディレクトリと同様に表示されます。

◆保存の方法について

文書の保存方法には、次の3つがあります。

■保存

すでに指定されている保存場所（「動作環境」や、文書作成画面の表示前に指定）に文書を保存します。

新規に作成した文書は、新たに文書が保存されます。

すでに保存されている文書を修正した場合は、修正前の文書が修正後の文書に置き変わります（修正前の文書は無くなります）。

詳しくは、「保存」（→オンラインリファレンス）を参照してください。

■別名で保存

文書名や保存場所をあらかじめ指定したあと、その指定に従って文書を保存します。

新規に作成した文書の場合は、「保存」と同じように保存されます。

すでに保存されている文書を修正した場合は、修正前の文書はそのまま残り、修正後の文書は別の文書として保存されます。

詳しくは、「別名で保存」（→オンラインリファレンス）を参照してください。

■終了

OASYS/Winを終了します。ただし、作成、修正した文書を保存していない場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示され、保存方法を選択できます。選択した方法に従って処理され、OASYS/Winが終了します。

詳しくは、「終了」（→オンラインリファレンス）を参照してください。

参 考

- 書類は、MS-DOSで初期化したフロッピーにも作成できます。ただし、フロッピーに作成した書類には、OASYS文書は保存できません。
- フロッピーのほかに、ICメモ리카ードにも文書を保存できます。保存できる文書形式などは、フロッピーと同一です。ただし、ICメモ리카ードを使用する場合は、MS-DOSのICメモ리카ードライブラリ（FM Rシリーズ、FM TOWNSでのみ使用可能、別売）が必要です。

第4章

オンラインマニュアル の使い方



1. オンラインマニュアルとは..... 42
2. オンラインチュートリアルの使い方..... 43
3. オンラインリファレンスの使い方..... 47
4. オンラインヘルプの使い方..... 51

1

オンラインマニュアルとは

▶ オンラインマニュアルとはソフトウェアの使い方を、そのソフトウェアの中で説明しているマニュアルです。紙マニュアルを開くことなしに、ソフトウェアを操作しながら、リアルタイムに情報を引き出すことができます。

本製品のオンラインマニュアルの種類

◆ オンラインチュートリアル

はじめてOASYS/Winを使う方のためのマニュアルです。OASYS/Winの基本的な機能や操作方法を、実際にソフトを使いながら理解することができます。オンラインチュートリアルには次の2つがあります。

- 機能紹介編

OASYS/Winの特に重要な基本的な機能を説明しています。メッセージに従って操作していくと、OASYS/Winの機能の概要を、絵や音で知ることができます。

- 操作練習編

OASYS/Winの特に重要な基本的な操作や機能を説明しています。OASYS/Winの動きを画面で確認しながら実際に操作を行うことができ、OASYS/Winの基本操作をマスターできます。

◆ オンラインリファレンス

OASYS/Winの機能や操作の詳細を説明したマニュアルです。実際にソフトウェアを使用しているときに、CDView/Winを使って、マニュアルを画面上で見ることができます。操作の方法がわからなくなったとき、そのソフトウェアでどんなことができるのかを知りたいときにお使いください。オンラインリファレンスには次の2つがあります。

- OASYS/Win リファレンスマニュアル

- OAK/Win ユーザーズガイド

◆ オンラインヘルプ

OASYS/Winの各ダイアログボックスの〈ヘルプ〉ボタン、またはメニューバーの『ヘルプ』を選択し、OASYS/Winの操作方法や機能の概要を知ることができるマニュアルです。メニューの内容を知りたいとき、文書編集の基本操作を知りたいとき、各機能の概要や操作方法を知りたいときにお使いください。各機能のより具体的な内容については、『オンラインリファレンス』をお使いください。

2

オンラインチュートリアル の 使い方

▶ オンラインチュートリアルは、アイコンをクリックしてCD-ROMから直接読みだして使います。メッセージに従って実際に操作を進めていきます。

注 意

- ご使用になる機種や環境によっては、音声の一部が切れる、画面表示が一部乱れる、または表示色が変わるなどの現象が発生することがあります。あらかじめご了承ください。
- オンラインチュートリアルを再生する場合は、サウンドボードが必要です。音声データを再生できない環境でオンラインチュートリアルを起動すると、メッセージが表示されます。この場合は、〈以後エラー無視〉を左クリックして操作を進めてください。
- ご使用になるCD-ROMドライブユニットによっては、オンラインチュートリアルをCD-ROMから読みだすのに時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- オンラインチュートリアルが起動中に、CD-ROMドライブの電源を切らないでください。正しく動作しなくなることがあります。

確 認

- あらかじめOASYS/Win を、ハードディスクにインストールしておきます。
- Windowsを起動しておきます。
- CD-ROMドライブの電源を入れ、CD-ROMドライブにOASYS/Win のCD-ROMをセットしておきます。

機能紹介編 (OASYS/Winガイド)

操 作

■ 起動するとき

- ① 「OASYS」のグループから「チュートリアル 機能紹介編」のアイコンを左ダブルクリック。
 - ▶ 「OASYS/Winガイド」のオンラインチュートリアルがスタートし、初期画面が表示されます。
- ② 〈スタート〉を左クリック。
 - ▶ メッセージに従って、操作を進めてください。

■ 終了するとき

(a) オンラインチュートリアルを「おわり」まで見たとき

- ① 〈終了〉を左クリック。
 - ▶ ここで〈最初から〉を選択すると、もう1度オンラインチュートリアルがスタートします。

(b) 途中で終わるとき

- ① 〈はじめに戻る〉を左クリック。
▶初期画面に戻ります。
- ② 〈終了〉を左クリック。

参 考

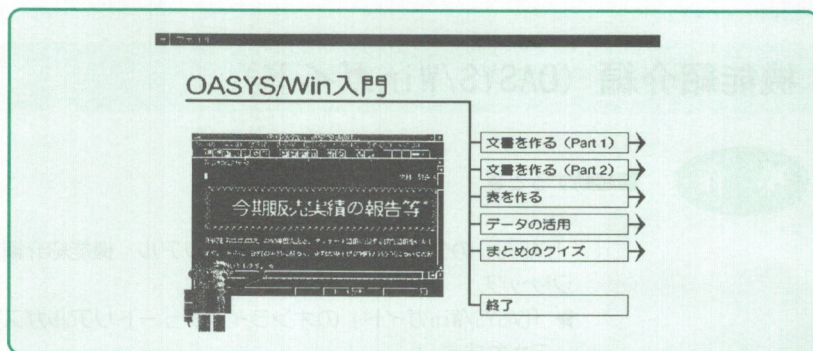
- オンラインチュートリアルのアイコンは、OASYS/Win本体のインストール時に同時に書き込まれます。
- クリックなどをする操作のところで、しばらく何もしないでいると、自動的に次へと進みます。

操作練習編 (OASYS/Win入門)

操 作

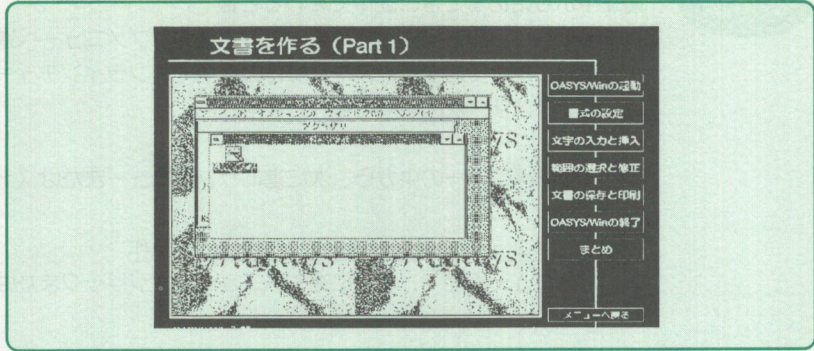
■ 起動するとき

- ① 「OASYS」のグループから「チュートリアル 操作練習編」のアイコンを左ダブルクリック。
▶「OASYS/Win入門」のオンラインチュートリアルがスタートし、メニュー画面が表示されます。



▶以下、本項ではこの画面の項目をメニューと呼びます。

- ② メニュー (→項目)の中から、〈文書を作る (Part 1)〉を左クリック。
▶「文書を作る (Part 1)」がスタートします。メッセージに従って、操作を進めてください。



▶以下、本項ではこの画面の項目をサブメニューと呼びます。

■終了するとき

- 1 操作の途中で、メニュー画面に戻っていない場合のみ操作サブメニューの中から〈メニューへ戻る〉を左クリック。
▶メニュー画面に戻ります。
- 2 メニューの中から〈終了〉を左クリック。
▶オンラインチュートリアルが終了します。

項目

■メニュー画面の項目 (メニュー)

メニュー項目	項目の内容
文書を作る (Part 1)	OASYS/Win の基本的な使い方を説明しています。 OASYS/Win の起動/書式の設定/文字の入力と挿入/範囲の 選択と修正/文書の保存と印刷/OASYS/Win の終了/まどめ
文書を作る (Part 2)	OASYS/Win の文書をより美しく、見やすくするための機能を 説明しています。 文書の更新/行の長さの変更/文字の修飾/センタリング/ 飾り罫線/まどめ
表を作る	表の作成/表内の文字の編集/表の拡大と編集/まどめ
データの活用	データの組み込み/データのリンク/まどめ
まどめのクイズ	学んだことのまどめを、○×のクイズにしています。
終了	オンラインチュートリアルを終了します。

活用法

■ 途中から始めるとき、途中で終わるとき

チュートリアルを操作している途中で、他のサブメニューへ進むことや、他のメニューへ進むことができます。また、操作の途中でオンラインチュートリアルを終わらせることもできます。次の手順で操作します。

- ① サブメニューの中から、次に進むサブメニューまたは〈メニューへ戻る〉を左クリック。
- ② 〈メニューへ戻る〉を選択した場合のみ操作
メニュー画面で、新たに進むメニューを左クリックまたは〈終了〉を左クリック。

注意

- 音声データの再生ができない環境で使用する場合、お使いになるパソコンによっては、画面の切り換えが速すぎることがあります。このような場合には、メニュー画面の〈音を消す〉をクリックしてから項目を選んでください（「音を消す」をクリックすると、表示は「音を鳴らす」に変わります）。

参考

- オンラインチュートリアルのアイコンは、OASYS/Win 本体のインストール時に同時に書き込まれます。
- クリックなどをする操作のところで、しばらく何もしていないと、自動的に次へと進みます。

3

オンラインリファレンスの使い方

▶オンラインリファレンスは、アイコンから、またはOASYS/Winを使用中に、CDView/Winを使って検索します。

画面の見方


ツールバー
 (それぞれのアイコンの機能について詳しくは「第5章 CDView/Winリファレンス」(→P. 53)を参照してください)
 ※マニュアル名称が表示されます。

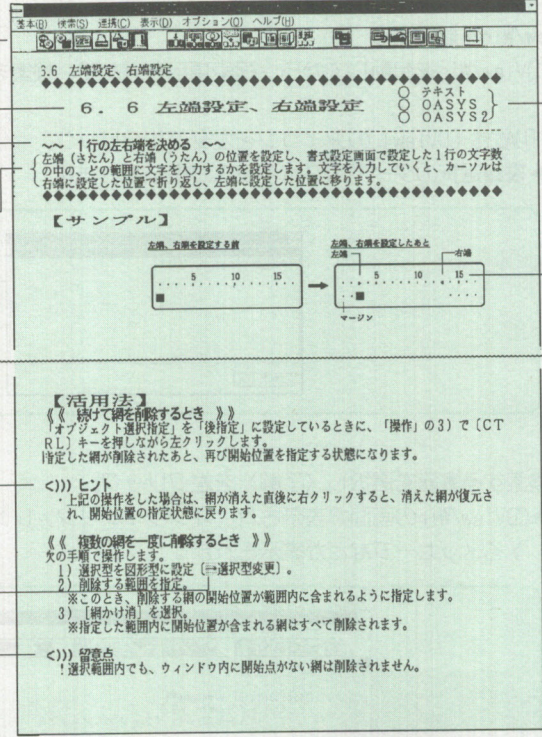
タイトル (機能名)
 サブタイトル (機能の用途)

説明する機能の
 ワンポイント解説

この節で説明している
 機能が使える文書形式

※図版は、縮小されて表示されます。原寸大で見ることがもできます。
 (「図版原寸大」(→P. 75))

※「活用法」や「項目」など、それぞれの項目に対応したヒントや留意点は、「<))」マークで、それぞれの項目内に記載してあります。
 関連項目ジャンプ「」(左ダブルクリックで、その語句に関連する項目の説明が表示されます。)



3.6 左端設定、右端設定
 6.6 左端設定、右端設定

チキスト
 OASYS
 OASYS2

～ 1行の左右端を決める ～
 左端(さたん)と右端(うたん)の位置を設定し、書式設定画面で設定した1行の文字数の中の、どの範囲に文字を入力するかを設定します。文字を入力していくと、カーソルは右端に設定した位置で繰り返し、左端に設定した位置に移ります。

【サンプル】

左端、右端を設定する前 → 左端、右端を設定したあと

5 10 15

バージョン

【活用法】

《《 網を削除するとき 》》
 「オブジェクト選択指定」を「後指定」に設定しているときに、「操作」の3)で「CTRL」キーを押しながら左クリックします。
 指定した網が削除されたあと、再び開始位置を指定する状態になります。

c)) ヒント
 ・上記の操作をした場合は、網が消えた直後に右クリックすると、消えた網が復元され、開始位置の指定状態に戻ります。

《《 複数の網を一度に削除するとき 》》
 次の手順で操作します。
 1) 選択型を図形型に設定(⇒選択型変更)。
 2) 削除する範囲を指定。
 ※このとき、削除する網の開始位置が範囲内に含まれるように指定します。
 3) 「網かけ消」を選択。
 ※指定した範囲内に開始位置が含まれる網はすべて削除されます。

<)) 留意点
 ! 選択範囲内でも、ウィンドウ内に開始点がない網は削除されません。

◆本文中のメニューおよびコマンド表記

本文中の表記	解説
[網かけ消]	プルダウンメニューの項目を意味しています。
<了解>	ダイアログボックスの中のプッシュボタンを意味しています。
[CTRL] キー	キーを意味しています。

オンラインリファレンスの起動と終了

確認

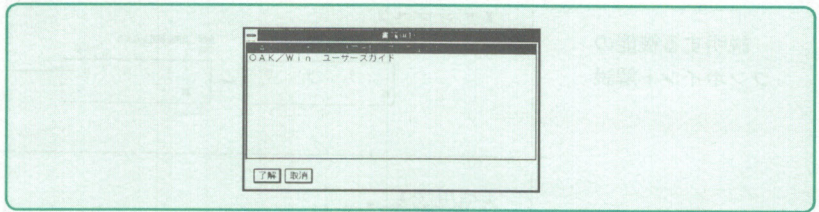
- あらかじめCDView/Winを、ハードディスクにインストールしておきます。
- Windows を起動しておきます。
- CD-ROMドライブの電源を入れ、CD-ROMドライブにOASYS/Win のCD-ROMをセットしておきます。

操作

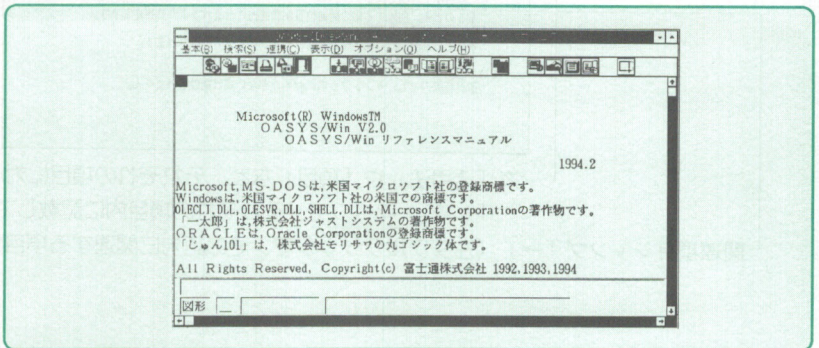
■CDView/Winを起動する

CDView/Winを起動してから、検索項目を選んで、検索を行います。

- 1 「OASYS-CDView」のアイコンを左ダブルクリック。
▶書籍選択のダイアログボックスが表示されます。



- 2 検索する書籍を選択し〈了解〉を左クリック。
▶CDView/Winの画面が表示され、オンラインリファレンスのタイトルと著作権に関するメッセージなどが表示されます。



CDView/Winを終了する

- ① 次のどちらかの操作を行う。
 - (1) 『基本』のプルダウンメニューから『終了』を選択。
 - (2) コントロールメニューから『クローズ』または『閉じる』を選択。
▶ 終了確認のダイアログボックスが表示されます。
- ② メッセージに従ってボタンを左クリック。

注意

- CDView/Win起動中にCD-ROMドライブの電源を切らないでください。正しく動作しなくなることがあります。
- FM RシリーズでCD-ROMを利用する場合で、CD-ROMドライブユニットに、FMCD-101、102、103以外の装置を使用するときは、次のようにしてCDView/Winを起動してください。
 1. CD-ROMドライバとMSCDEX.EXEを登録する。
 2. 起動パラメータ「OASYS.D. EXE -X」を追加する（プログラムマネージャ上のコマンドラインを変更する）。
 なお、CD-ROMドライバとMSCDEX.EXEは「CD-ROMライブラリ」として別売されるほか、一部のソフトウェアやハードウェアに添付されます。

参考

- CDView/WinはOASYS/Winの文書作成画面の『その他』のプルダウンメニューからも起動することができます。

機能の探し方

オンラインリファレンスを便利に使うための、CDView/Winの基本的な操作を説明します。それぞれの機能について詳しくは、「第5章 CDView/Winリファレンス」(→P. 53)を参照してください。


◆ **目次、索引から項目を検索する**（「目次 (CDView/Win)」(→P. 70) 「索引」(→P. 71)）

本の目次や索引から項目を探しだすように、画面上に表示された目次や索引から、項目を選択して検索できます。

◆ **調べたい項目を入力して検索する**（「入力語検索」(→P. 65)）

検索したい語句がわかっているときに、直接キーボードから語句を入力して検索できます。また、語句を完全に覚えていない場合でも、単語を組み合わせて検索できます。

◆関連する項目を表示させる（「関連項目ジャンプ」（→P. 57））

検索した項目の解説文中に網かけされた部分「」がある場合、その部分を左ダブルクリックするだけでその語句の関連項目へジャンプして説明文を表示できます。

◆画面をスクロールする（「前画面、次画面」（→P. 76）「前項目、次項目」（→P. 76））

画面に表示されていない項目を表示できます。また、ウィンドウの右側や下側にあるスクロールバーでも操作できます。

◆図版を元の大きさに表示させる（「図版原寸大」（→P. 75））

図版はCD-ROM内に入っているデータを、通常は縮小して表示します。図版原寸大を選択すると、CD-ROMに入っているデータの大きさに図版を表示できます。図版をもっと大きく見たいときに選択します。

注 意

●次の機能については、オンラインリファレンスでは使用できません。

- ・色表示
- ・音声の再生
- ・項目番号検索
- ・入力語条件検索（見出し語条件検索・クロス検索）
- ・複合検索
- ・他書籍検索

参 考

●CDView/winの各コマンドは、一部を除いて、ツールバーのアイコンからも実行できます。コマンドとアイコンの対応については、付録の「CDView/Winツールバーアイコン一覧」（→P. 92）を参照してください。

4 オンラインヘルプの使い方

▶OASYS/Winの操作方法や機能の概要を説明する機能を「ヘルプ」と呼びます。メニューの内容を知りたいとき、文書編集の基本操作を知りたいとき、各機能の概要や操作方法を知りたいときに参照します。

ヘルプを表示する

操 作

■メニューバーから参照する場合

- 1 【ヘルプ】を左クリック。
- 2 【ヘルプ】のプルダウンメニューから、参照する内容のメニュー項目を選択。

■現在操作中のコマンドのヘルプをワンタッチで表示する場合 文書作成画面にカーソルがあるときに【ヘルプ】を押す。

■各機能の概要や操作方法を参照する場合

- 1 各機能のダイアログボックスの〈ヘルプ〉を左クリック。
▶使用中の機能に関する内容の「ヘルプ」画面が表示されます。

■コマンドについて参照する場合

- 1 プルダウンメニューのメニュー項目にカーソルを移し、【ヘルプ】を押す。
▶カーソル位置のメニュー項目に関する内容の「ヘルプ」画面が表示されます。

ヘルプを終了する

操 作

■メニューバーから参照する場合

- 1 「ヘルプ」画面の【ファイル】のプルダウンメニューから【終了】を左クリック。

第5章

CDView/Win リファレンス



1. CDView/Winの起動と概要	54
2. 基本	58
3. 検索	64
4. 連携	72
5. 表示	74
6. オプション	80

1

CDView/Winの起動と概要

▶ CDView/Winの起動方法と概要について

CDView/Winは、各種CD辞書の中から情報を検索、表示できるソフトウェアです。検索の結果は情報源として参照できるだけでなく、OASYS/Winの文書やその他のアプリケーションに、貼り付けることができます。

CDView/Winの起動と終了

確認

- あらかじめCDView/Winを、ハードディスクにインストールしておきます。
- Windows を起動しておきます。
- CD-ROMドライブの電源を入れ、CD-ROMドライブにCD-ROMをセットしておきます。
- ご使用のCD-ROMによっては、対応していない機能があります。どのような検索ができるかについては、ご使用のCD-ROMに添付のマニュアルをお読みください。

操作

■ アイコンから起動する場合

- ① 「OASYS-CDView」のアイコンを左ダブルクリック。
 - ▶ CDView/Winの画面が表示され、CD-ROMのタイトルと著作権に関するメッセージなどが表示されます。
 - ▶ CD-ROMに複数の書籍が入っている場合には、「書籍選択」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 書籍選択のダイアログボックスが表示された場合のみ操作
検索する書籍を選択し〈了解〉を左クリック。
 - ▶ CDView/Winの画面が表示され、CD-ROMのタイトルと著作権に関するメッセージなどが表示されます。

■ OASYS/Winの文書作成画面から起動する場合

- ① 〔その他〕のプルダウンメニューから〔CDView〕を選択。
 - ▶ CDView/Winの画面が表示され、CD-ROMのタイトルと著作権に関するメッセージなどが表示されます。
 - ▶ CD-ROMに複数の書籍が入っている場合には、「書籍選択」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 書籍選択のダイアログボックスが表示された場合のみ操作
検索する書籍を選択し〈了解〉を左クリック。
 - ▶ CDView/Winの画面が表示され、CD-ROMのタイトルと著作権に関するメッセージなどが表示されます。

■ 終了する場合

- ① 次のどちらかの操作を行う。
 - (1) 『基本』のプルダウンメニューから『終了』を選択。
 - (2) コントロールメニューから『クローズ』または『閉じる』を選択。
▶ 終了確認のダイアログボックスが表示されます。
- ② メッセージに従って、ボタンを左クリック。

活用法

■ OASYS/Win の文書作成画面に表示されている文字列から検索するとき
OASYS/Win の文書作成画面から、検索する範囲を指定して、直接CD-ROMを検索できます。
次の手順で操作します。

- ① 文書作成画面で、検索する文字列の範囲を指定する。
▶ 範囲の指定方法については、「範囲の指定方法」(→P. 28)を参照してください。
- ② 『その他』のプルダウンメニューから『CDView』を選択。
▶ CDView/Win画面が表示され、検索した結果が表示されます。
▶ CDView/Winが起動していない場合は、自動的にCDView/Winが起動されます。
▶ CD-ROMに複数の書籍が入っている場合には、「書籍選択」のダイアログボックスが表示されます。
- ③ 書籍選択のダイアログボックスが表示された場合のみ操作
検索する書籍を選択し〈了解〉を左クリック。
▶ CDView/Win画面が表示され、検索した結果が表示されます。

注意

- CDView/Win起動中にCD-ROMドライブの電源を切らないでください。正しく動作しなくなることがあります。
- FM RシリーズでCD-ROMを利用する場合で、CD-ROMドライブユニットに、FMCD-101、102、103以外の装置を使用するときは、次のようにしてCDView/Winを起動してください。
 1. CD-ROMドライバとMSCDEX.EXEを登録する。
 2. 起動パラメータ「OASYS/CD.EXE -X」を追加する(プログラムマネージャー上のコマンドラインを変更する)。
 なお、CD-ROMドライバとMSCDEX.EXEは、「CD-ROMライブラリ」として別売されるほか、一部のソフトウェアやハードウェアに添付されます。

色表示

CD-ROMの本文中に検索語にちなんだ色のデータがある場合は、画面右の6桁×6行の四角内に色が表示されます。たとえば、検索語が『うぐいす』のときに、『うぐいす色』のデータがある場合などです。本文中に図版も表示されている場合は、色表示が先に、図版が後に表示されます。

音声の再生

CD-ROM内に音情報が入っている場合は、画面に「♪」が表示されます。音情報は、再生することができます。

確認

- 音を再生できるCD-ROMドライブユニットを使用している場合のみ、音情報を再生できます。

操作

- ① 「♪」を左ダブルクリック。
▶「音声再生」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 〈了解〉を左クリック。
▶音声再生中のメッセージが表示され、音声が流れます。


取消

- 操作②中で〈取消〉を左クリック⇔音声再生を選択する前の状態。
- 再生中に〈中止〉を左クリック⇔音声再生を選択する前の状態。


注意

- 外付けのCD-ROMドライブユニットをお使いの場合は、CD-ROMドライブユニットに、お手持ちのイヤホンやヘッドホンなどを接続してから、音声を再生させてください。

関連項目ジャンプ

検索した項目の解説文中に網かけされた部分「」がある場合、その語句に関連した解説文を表示できます。

操作

- ① 解説文中の網かけされている部分「」に、カーソルを移動。
- ② 左ダブルクリック。

参考

- 前に表示されていた状態に戻る場合は、「前結果」(→P. 75)を選択します。

一覧から複数の項目を選択する

検索結果が一覧表示されている場合に、その項目を複数選択して、選択した項目の解説文を表示できます。間隔の空いた項目の解説文を、一度に表示するときに便利な機能です。

操作

- ① 表示する項目で【CTRL】を押しながら左クリック。
▶選択した項目が反転表示されます。
- ② 表示する項目をすべて選択するまで、①の操作を繰り返す。
- ③ 左ダブルクリック。

参考

- 前に表示されていた状態に戻る場合は、「前結果」(→P. 75)を選択します。

ヘルプ

QASYS/Winと同様のヘルプも用意されています。CDView/Winをお使いの際に、メニューの内容が知りたいとき、各機能の概要や操作方法を知りたいときに参照してください。ヘルプの使い方について詳しくは、「オンラインヘルプの使い方」(→P. 51)を参照してください。

2

基本

▶ CDView/Winの基本のプルダウンメニューの項目を説明します。

CD-ROM切換 (→P. 58)	現在使用しているCD-ROMから他のCD-ROMに切り換えます。
書籍切換 (→P. 59)	CD-ROMに複数の書籍がある場合に、他の書籍に切り換えます。
動作環境 (→P. 59)	CDView/Winを起動したときの動作環境を設定します。
印刷 (→P. 62)	指定した範囲内の解説文、または項目単位の印刷をします。
プリンタ設定 (→P. 62)	印刷をするときのプリンタの設定をします。
終了 (→P. 55)	CDView/Winを終了します。

CD-ROM切換



操 作

- ① 『基本』のプルダウンメニューから『CD-ROM切換』を選択。
▶ CD-ROM入れ換えのメッセージが表示されます。
- ② 検索するCD-ROMをセットして、ボタンを左クリック。
▶ CD-ROMに1つの書籍だけが入っている場合は、切り換えた書籍の著作権画面が表示されます。
▶ CD-ROMに複数の書籍が入っている場合は、「書籍選択」のダイアログボックスが表示されます。
- ③ CD-ROMに複数の書籍が入っている場合のみ操作
検索する書籍を選択し、〈了解〉を左クリック。
▶ 著作権画面が表示されます。

取 消

- 操作③中で〈取消〉を左クリック⇒CD-ROM入れ換えのメッセージに戻る。

書籍切換



操 作

- ① 『基本』のプルダウンメニューから『書籍切換』を選択。
▶ 「書籍選択」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 検索する書籍を選択し、〈了解〉を左クリック。

取 消

- 操作②中で〈取消〉を左クリック⇔書籍切換を始める前の状態。

注 意

- CD-ROMに1つの書籍のみの場合は、このメニューは選択できません。

動作環境



確 認

- 動作環境は、設定後再度CDView/Winを起動したときから有効となります。
- お使いの機種によっては、選択できない項目があります。

操 作

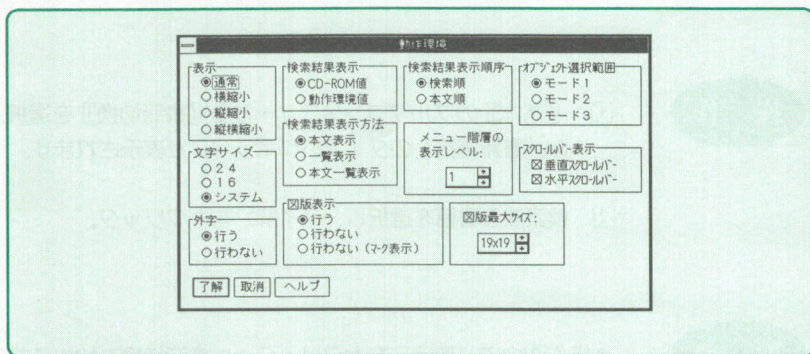
- ① 『基本』のプルダウンメニューから『動作環境』を選択。
▶ 「動作環境」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 各項目(→項目)を設定し、〈了解〉を左クリック。

取 消


- 操作②中で〈取消〉を左クリック⇔動作環境を始める前の状態。

項目

◆「動作環境」のダイアログボックス



項目	項目の内容
表示	文字を縮小して表示するかを設定します。
通常	通常の大きさで表示します。
横縮小	横縮小された文字を表示します。
縦縮小	縦縮小された文字を表示します。
縦横縮小	縦横縮小された文字を表示します。
文字サイズ	表示する文字サイズを設定します。
16	16ドットフォントで文字を表示します。
24	24ドットフォントで文字を表示します。
システム	システムフォントで文字を表示します。
外字	外字表示を行うか、行わないかの設定をします。
検索結果表示	検索結果表示方法と検索結果表示順序は、CD-ROMに初期状態が設定されています。
CD-ROM値	CD-ROMに設定されている状態で表示されます。
動作環境設定	動作環境設定のダイアログボックスで設定した状態で表示されます。
検索結果表示方法	かな検索および表記検索を行ったときの検索結果の表示方法を設定します。
本文表示	直接解説文を表示します。
一覧表示	項目の一覧を表示してから、指定した項目の解説文を表示します。
本文一覧表示	項目の解説文の先頭行を一覧表示します。
検索結果表示順序	解説文をどのような順番で表示するかを設定します。
検索順	検索された順に表示します。
本文順	CD-ROMに入っている順に表示します。
メニュー階層の表示レベル	目次機能での階層化メニュー（章や節などの階層）を表示するとき、どのレベルまで表示するかを設定します。 ▶表示レベルは、0から99まで設定できます。

項目	項目の内容
オブジェクト選択範囲 モード1 モード2 モード3	<p>範囲選択する際に、選択範囲にカーソル位置を含むか含まないかを選択します。</p> <p>たとえば、次のように1から5、または5から1までカーソルを動かした場合、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> 1 2 3 4 5 </div> <p>「モード1」では、「→方向」「←方向」とも「1 2 3 4」が選択されます。</p> <p>「モード2」では、「→方向」の場合は「1 2 3 4」、「←方向」の場合は「2 3 4 5」が選択されます。</p> <p>「モード3」では、「→方向」「←方向」とも「1 2 3 4 5」が選択されます。</p> <p>詳しくは、「カーソル位置と選択範囲の関係」(→オンラインリファレンス)を参照してください。</p>
スクロールバー表示 <input type="checkbox"/> 垂直スクロールバー表示 <input type="checkbox"/> 水平スクロールバー表示	スクロールバーを画面に表示するかどうかを設定します。
図版表示	<p>図版の表示方法を設定します。</p> <p>▶画面左下の「図形」の部分をクリックしても、表示方法を変更できます。</p>
行う	<p>図版を表示します。</p> <p>画面左下には、「図形」と表示されます。</p>
行わない	<p>図版の範囲は空白のまま解説文を表示し、図版は表示しません。</p> <p>画面左下には、何も表示されません。</p>
行わない(マーク表示)	<p>見出し語の右側にマーク「」だけを表示し、図版があることを示します。</p> <p>画面左下には、「図マ」と表示されます。</p>
図版最大サイズ	本文中に表示される図版の最大表示サイズを14行×14桁から30行×30桁までの範囲で設定します。ここで設定したサイズより大きい図版は、縮小されて表示されます。

参 考

- 「表示形式」(→P. 76)でも表示方法を設定できます。この場合、設定した表示方法は、CDView/Winを終了するまで有効になります。

印刷



操 作

- ① 選択型がテキスト型か図形型かを確認して、印刷する範囲を指定する。
▶ 範囲の指定方法について詳しくは、「範囲の指定方法」(→P. 28)を参照してください。
- ② 『基本』のプルダウンメニューから『印刷』を選択。
▶ 「印刷」のダイアログボックスが表示されます。
- ③ 印字文字サイズを指定して、〈了解〉を左クリック。

取 消

- 操作③中に〈取消〉を左クリック⇔印刷を始める前の状態。

注 意

- CD-ROMの種類によっては、表示されているとおりに印刷できない場合があります。

参 考

- 解説文が表示されている状態で、見出し項目(章・節タイトルや章・節番号)にカーソルを移動して『印刷』を選択すると、その項目のすべての解説文を画面に表示されているとおりに印刷できます。
- 図版を含む見出し項目にカーソルを移動して『印刷』を選択すると、図版を含めて印刷できます。ただし、CD-ROMによっては印刷できないものがあります。

プリンタ設定



操 作

- ① 『基本』のプルダウンメニューから『プリンタ設定』を選択。
▶ 「プリンタ設定」のダイアログボックスが表示されます。
- ② プリンタの機種名を選択して、〈設定〉を左クリック。
▶ 指定したプリンタの「プリンタ詳細設定」のダイアログボックスが表示されます。
- ③ 各項目を設定し、〈了解〉を左クリック。
▶ プリンタの詳細が設定され、「プリンタ設定」のダイアログボックスに戻ります。
- ④ 〈了解〉を左クリック。

3

検索

▶ CD-ROMの中から情報を検索する方法と、CDView/Winの検索のプルダウンメニューの項目を説明します。

入力語検索 (→P. 65)	検索したい語句を、直接キーボードから入力して検索します。文字の入力方法は、通常のかな漢字変換と同じです。完全に語句を覚えていない場合でも、語句に含まれている組み合わせで検索できます。入力語検索には、6種類の検索方法があります。
関連語検索 (→P. 67)	検索した結果の中に、さらに調べたい語句があった場合に、その語句を画面上で指定して検索します。
条件検索 (→P. 67)	入力した語句を、解説文中に含む、または含まないという条件で検索します。複数の単語を入力して検索できます。入力語検索との違いは、入力語検索が「項目」を入力して検索するのに対して、条件検索では、解説文中の単語も入力して検索できることです。あいまいな知識からでも、確かな情報を引き出せます。
複合検索 (→P. 69)	あらかじめ設定されている条件を入力して、その条件にそって検索します。
メニュー検索 (→P. 70)	CD-ROM内に用意されている「メニュー」を指定することによって検索します。
目次 (→P. 70)	CD-ROMの目次を表示し、項目を指定して検索します。
索引 (→P. 71)	CD-ROMの索引を表示し、検索したい語句を索引画面上で指定して検索します。
他書籍検索 (→P. 71)	すでに検索した語句を、さらに同じCD-ROM内の他の書籍で検索します。CD-ROM内に複数の辞書が入っていて、同じ種類の辞書が複数含まれている場合に使用できます。

入力語検索



操作

- ① 【検索】のプルダウンメニューから【入力語検索】を選択。
▶画面下に検索語の入力領域が表示されます。
- ② 検索語を入力(→項目)し〈実行〉または〈クロス検索〉を左クリック。
▶検索結果は、「かな検索」「表記形検索」の場合、「表示形式」(→P. 76)に従って表示されます。
▶「後半一致検索」「前半一致検索」「項目番号検索」「入力語条件検索」では、検索結果の表示方法と内容の表示順序は、「一覧表示」「検索順」がそれぞれ自動的に選択されます。
▶検索文字列中に空白があった場合は、空白をつめた状態で検索を行います。
▶一覧が表示されたときは、表示したい項目を左ダブルクリックすると、その項目の解説が表示されます。
▶検索の結果、該当する項目がなかった場合は、「該当項目が見つかりません」というメッセージが表示され、検索語の先頭文字から一致している部分があった場合のみ、その一致している部分のうちで一番長い語句が検索されます。


取消

- 操作②中に〈取消〉を左クリック⇔入力語検索を始める前の状態。

項目

◆入力語検索の入力方法

入力の種類	入力方法
かな検索	ひらがな、またはカタカナで検索する語句の「読み」を入力します。
表記形検索	表示されているそのままの形(表記形)で語句を入力します。漢字や英字など、かな(カナ)以外の文字を使った語句を、表記されている形で検索する場合や、正確に読みを知らない場合に使います。
後半一致検索	前半部分がわからない語句や、同じ後半部分を持つ(後半一致)語句を検索します。「～(波ダージ)」をつけて、後ろに後半部分の文字を入力します。
前半一致検索	後半部分がわからない語句や、同じ前半部分を持つ(前半一致)語句を検索します。前半部分の文字を入力してから「～(波ダージ)」を入力します。

入力の種類	入力方法
項目番号検索	<p>「項目番号」という数字で検索できる検索情報を備えているCD-ROMで使用できます。項目番号は、OASYS/Win で文字を入力するときを使う「区点コード」のようなもので、数字で始まり、以後が数字、または英字になっています。項目番号が用意されていないCD-ROMに対して行くと、「表記形検索」となり、項目番号そのものを検索します。</p>
<p>入力語条件検索 (見出し語条件検索・クロス検索)</p>	<p>語句が複合語である場合に、その語句を構成する単語を完全に覚えていないときや、単語の並び順があいまいなときなどに行う検索です。語句を構成する単語を組み合わせて、〈クロス検索〉を左クリックします。</p> <p>検索語は、複数の単語を入力でき、各単語の先頭に条件を表す記号をつけて入力します。</p> <p>たとえば、最新医学大辞典CD-ROM版で、「悪性骨巨細胞腫」(malignant giant cell tumor of bone) を英語で検索したいときは、わかっている単語と、条件を表す記号を合わせて次のように入力します。</p> <p>『malignant/giant/tumor/bone/cell 』</p> <p>上記のように入力すると、入力した5つの単語すべてを含む言葉が検索されます。</p> <p>なお、指定できる条件には、次の3つがあります。</p> <p>「かつ」……………「&」または「/」 「または」……………「,」または「 」 「含まない」……………「@」</p> <p>▶各検索語は、どのような順序で入力してもかまいません。 ▶一度に検索できる項目数は、最大で約2000項目です。</p> <p> ヒント</p> <p>●検索は、最初の単語と条件について行われます。次に、最初の結果に対して、2番目以降の単語と条件が、順次検索されます。</p> <p>たとえば、「A & B, C @ D」(AかつBまたはCでDを含まないもの) という条件での検索は、次のように行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AとBを両方含んだ語句を検索する……………① 2. Cを含んだ語句を探し、①の結果に加える……………② 3. ②の中で、Dという単語が含まれている語句を除く…③ <p>③が検索結果となります。</p>

注 意

●入力できる文字数は、最大で全角19文字、半角38文字です。

参考

- 前に表示されていた状態に戻る場合は、「前結果」(→P. 75)を選択します。
- 2回目以降の入力語検索では、前回使用した検索語が入力領域に表示されます。
- 「後半一致検索」と「前半一致検索」の「～(波ダッシュ)」は「- (ダッシュ)」「- (ハイフン)」または「* (アスタリスク)」でもかまいません。

関連語検索



操作

- 1 選択型をテキスト型にする。
▶選択型について詳しくは、「範囲指定の方法を選択する」(→P. 80)を参照してください。
- 2 検索する文字列の範囲を指定する。
▶範囲の指定方法について詳しくは、「範囲の指定方法」(→P. 28)を参照してください。
- 3 『検索』のダイアログボックスから『関連語検索』を選択。
▶指定された語句に合った検索方法で「入力語検索」を行います。たとえば、かなを指定したら「かな検索」、漢字を指定したら「表記形検索」を行って、検索結果を表示します。
▶検索文字列中に空白があった場合は、空白をつめた状態で検索を行います。

参考

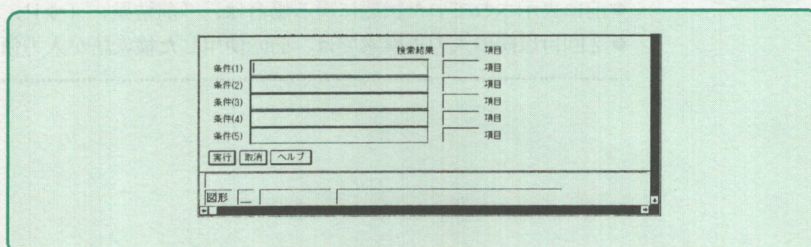
- 検索したい語句の上で左ダブルクリックすると、その前後の文字列で検索を行います。

条件検索



操作

- 1 『検索』のプルダウンメニューから『条件検索』を選択。
▶画面下に条件入力領域が表示されます。



- ② 条件(1)の入力領域に、1つめの検索条件を入力する。
- ▶ 1つの条件欄に最大5項目を「,」または「|」で区切って入力できます。
「A, B」と入力すると「AかBかどうか」の項目、「A | B」と入力すると「AとBの両方を含む」の項目が検索されます。
 - ▶ 入力欄の先頭に「@」をつけた場合は、この条件欄に入力したすべての単語を「含まない」項目が検索されます。ただし、「条件(1)」欄に「@」をつけることはできません。
 - ▶ 入力欄の先頭が「@」の場合は、その欄に「,」または「|」があっても「含まない」とみなします。
- ③ 条件(2)~条件(5)の入力領域に、必要な分の検索語を②と同様に入力し(実行)を左クリック。
- ▶ 指定した最大5つの条件のすべてに合った項目が検索され、項目の一覧と項目数が表示されます。
初めに条件(1)について検索されます。その検索結果の中で条件(2)に合った項目が検索されます。以下同様に、前の検索結果の中で次の検索条件を満たす語句が検索されます。
 - ▶ 条件欄どうしの関係は「かつ」となります。
 - ▶ 検索の結果、該当する項目がなかった場合は、検索結果項目数が「0」で、「該当項目が見つかりません」とメッセージが表示されます(条件を満たす語句がない場合と、CD-ROM内の条件検索用の情報の中に、入力した検索語が含まれていない場合が考えられます)。
- ④ 表示する項目を左ダブルクリック。

取消

- 操作②③④中に〈取消〉を左クリック⇔条件検索を始める前の状態。

注意

- 入力できる文字数は、最大で全角19文字、半角38文字です。

参考

- 一度に検索できる項目数は、最大で約2000項目です。
- 前に表示されていた状態に戻る場合は、「前結果」(→P. 75)を選択します。
- 2回目以降の入力語検索では、前回使用した検索語が入力領域に表示されます。

複合検索



操 作

- 1 〔検索〕のプルダウンメニューから〔複合検索〕を選択。
▶画面下に、質問項目と検索語の入力領域が表示されます。

- 2 検索語の入力領域の右側にある〈参〉（参照ボタン）を左クリック。
▶参照一覧が表示されます。
▶〈参〉（参照ボタン）が表示されていない項目は、直接キーボードから検索語を入力します。
- 3 参照したい項目を左ダブルクリック。
▶さらに別のメニューが表示された場合は、参照する項目を左ダブルクリックするという操作を繰り返します。
▶最後に決定した文字列が、検索語の入力領域に表示されます。

- 4 23の操作を繰り返して、すべての検索語を入力します。
▶項目が複数のページにわたるときは、〈前画面〉〈次画面〉が表示されます。それぞれ左クリックすると、前ページ、次ページが表示されます。
- 5 〈実行〉を左クリック。
▶検索結果の項目一覧と検索結果の項目数が表示されます。
- 6 検索結果の項目一覧から、表示する項目を左ダブルクリック。

取 消

- 操作²³⁴中に〈取消〉を左クリック⇔複合検索を始める前の状態。

注 意

- 入力できる文字数は、最大で全角19文字、半角38文字です。

メニュー検索



操 作

- ① 『検索』のプルダウンメニューから『メニュー検索』を選択。
▶CD-ROM内のメニューが表示されます。
- ② 参照する項目を左ダブルクリック。
▶さらに別のメニューが表示された場合は、参照する項目を左ダブルクリックするという操作を繰り返します。
▶最後のメニューで指定した項目以降の内容が表示されます。

目次



操 作

- ① 『検索』のプルダウンメニューから『目次』を選択。
▶目次画面が表示されます。
- ② 参照する項目を左ダブルクリック。

参 考

- 項目の左側の「▶」を左ダブルクリックすると、下位レベルの目次が隠れます。
- 項目の左側の「▷」を左ダブルクリックすると、下位レベルの目次が表示されます。
- 「メニュー階層」(→P. 77)で、目次の表示レベルを設定することもできます。

索引



操作

- ① 【検索】のプルダウンメニューから【索引】を選択。
▶索引画面が表示されます。
- ② 表示する項目を左ダブルクリック。

参考

- 「索引ジャンプ」 (→P. 78) で、よりスムーズに索引検索を行うことができます。

他書籍検索



操作

- ① 検索する語句を「入力語検索」 (→P. 65) する。
▶検索結果が表示されます。
- ② 【検索】のプルダウンメニューから【他書籍検索】を選択。
▶画面下に「他書籍参照中」と表示され、他の書籍で検索した結果が表示されます。
▶次に検索を行う場合は、元の書籍で行われます。

4

連携

▶CDView/Winの連携のプルダウンメニューの項目を説明します。

連携複写



検索結果を文書中に取り込むことができます。検索結果の文字列をクリップボードに複写でき、クリップボードを使用すると、OASYS/Win や他のアプリケーションでデータを受け取れます。クリップボードとは、文書や図形などのデータを一時的に保管する場所のことです。データを一時的に保管する中継所を持つことで、他のアプリケーションとのやり取りが可能になります。

また、連携複写する範囲に外字があった場合は、外字をフォントファイルに登録できます。CD-ROMの外字を、文字パターン基本セットに含まれるフォントファイルの中のユーザ定義文字領域に、文字パターンとして登録します。

確認

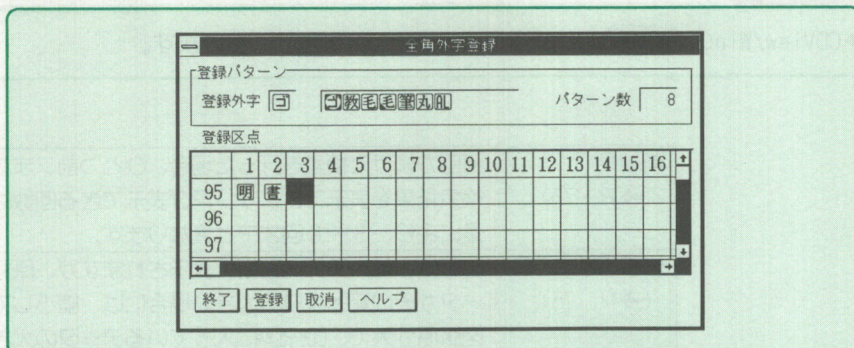
- すでにクリップボードに登録しているデータは、新たに連携複写するとすべて上書きされます。
- お使いのCD-ROMによっては、一度に複写できる量が、59行分に制限される場合があります。
- OASYS 文書に図版を貼り付けることはできません。
- 範囲指定した部分に外字があったときに、外字登録を行わなかった場合は、外字の部分は空白に置き換えられます。
- 外字を登録すると、文字パターン基本セットのフォントファイルにあった元の文字パターン（→オンラインリファレンス）が、新たに登録された文字パターンに置き換わります。誤って必要な文字パターンを上書きしないように、あらかじめ登録済みの文字パターンの位置を確認してください。

操作

- 1 複写する範囲を指定。
▶範囲の指定方法について詳しくは、「範囲の指定方法」（→P. 28）を参照してください。
- 2 [連携] のプルダウンメニューから [連携複写] を選択。
- 3 「連携複写」した範囲に外字があった場合のみ操作
「外字登録」のダイアログボックスから「はい」または「いいえ」を選択。
- 4 ③で「はい」を選択した場合のみ操作
「全角外字登録」のダイアログボックスから各項目（→項目）を設定し、〈登録〉を左クリック。
▶外字が複数ある場合は、1文字ごとに操作を繰り返します。
▶指定した範囲に全角外字、半角外字の両方がある場合は、全角外字登録のあとに半角外字登録を行います。

項目

◆「全角外字登録」のダイアログボックス



項目	項目の内容
登録パターン	複写の対象になる外字パターンが表示されます。複数の外字がある場合は、右の枠内に残りが表示されます。表示できる外字数は、17文字までです。
パターン数	外字パターンの数が表示されます。
区点番号	外字を登録する区点番号を設定します。区番号を設定し、登録する点番号を左クリックします。全角文字は95区以降に、半角文字は104区以降に設定します。
終了	登録パターンの位置にある外字をすべて登録しない場合に選択します。
登録	登録パターンの位置にある外字を登録するときに選択します。
取消	登録パターンの位置にある外字を登録しないときに選択します。

5

表示

▶ CDView/Winの表示のプルダウンメニューの項目を説明します。

前結果 (→P. 75)	何回か続けて検索を行った場合、ひとつ前、またはそれ以前の検索結果を表示できます。再び表示できる回数は、検索結果の量により、3～8回までと異なります。
図版原寸大 (→P. 75)	図版は、最大30行×30桁で表示されますが、原寸大の図版のデータがその範囲よりも大きい場合には、縮小して表示されます。図版原寸大で、CD-ROMに入っているデータの大きさで表示できます。
表示形式 (→P. 76)	CDView/Winで検索した結果の表示形式を設定します。ここで設定した表示形式は、CDView/Winを終了するまで有効です。
前画面、次画面 (→P. 76)	現在表示しているページの前後のページを表示します。
前項目、次項目 (→P. 76)	現在表示している画面の前後の項目を表示します。
メニュー階層 (→P. 77)	目次のどの階層まで表示するかを設定します。表示されている項目に、さらに下位レベルの項目がある場合は、「▷」が表示されます。
索引ジャンプ (→P. 78)	50音とアルファベットの頭文字の一覧から、検索したい項目の頭文字を指定すると、そこから索引画面にジャンプできます。索引検索がスムーズにできる機能です。
ツールバー表示 (→P. 78)	ツールバーの表示方法や、表示位置を設定できます。

前結果



確認

- 前の結果を表示させると、【前結果】を行う前に表示していた検索結果（最後の検索結果）の表示画面には戻れません。

操作

- ① 【表示】のプルダウンメニューから【前結果】を選択。
▶ひとつ前の検索結果が表示されます。
- ② さらに前の検索結果を表示させる場合のみ操作
□の操作を繰り返す。

注意

- カーソルが検索語入力領域にあるときに「前結果」を行うと、カーソルは検索結果表示領域に移ります。検索語入力領域は消えて、検索語表示領域が画面下に表示され、前回入力した検索語が表示されます。

図版原寸大



確認

- 表示形式の設定で、「図版表示」を「行う」または「行わない（マーク表示）」を設定したときのみ、「図版原寸大」を選択できます。

操作

- ① 【表示】のプルダウンメニューから【図版原寸大】を選択。
- ② カーソルが図版の枠内でない場合のみ操作
画面下に「どの図版ですか」と表示されるので、カーソルを移動して左クリック。
- ③ 元の画面に戻るときは、〈了解〉を左クリック。

参考

- 図版の位置または「回」マークを左ダブルクリックしても、原寸大表示をすることができます。
- 図版原寸大のウィンドウは最大で画面サイズまでです。図版のデータがこれよりも大きい場合は、ウィンドウにスクロールバーが表示されます。
- 図版の大きさは、「動作環境」（→P. 59）で、14行×14桁から30行×30桁の範囲で変更できます。

表示形式



操作

- ① 『表示』のプルダウンメニューから『表示形式』を選択。
▶「表示形式」のダイアログボックスが表示されます。
- ② 各項目を設定し、〈了解〉を左クリック。
▶項目について詳しくは、「動作環境」(→P. 59)を参照してください。

取消

- 操作②中で〈取消〉を左クリック⇐⇒表示形式を選択する前の状態。

参考

- 「動作環境」(→P. 59)でも表示方法を設定できます。ただし、設定後再度CDView/Winを起動したときから有効となります。

前画面、次画面（画面スクロール）

操作

- ① 『表示』のプルダウンメニューから『前画面』または『次画面』を選択。
▶画面がスクロールして、表示されていなかったページが表示されます。

参考

- ウィンドウ右側または下側のスクロールバーを操作しても、画面に表示されていないページを表示できません。

前項目、次項目（画面スクロール）

操作

- ① 『表示』のプルダウンメニューから『前項目』または『次項目』を選択。
▶画面がスクロールして、表示されていなかった項目が表示されます。

参考

- ウィンドウ右側のスクロールバーを操作しても、画面に表示されていない項目を表示できません。

メニュー階層

操作

- ① 〔表示〕のプルダウンメニューから〔メニュー階層〕を選択。
▶「メニュー階層」のサブメニューが表示されます。
- ② 「メニュー階層」のサブメニューから、表示するレベル（→項目）を選択。

項目

◆「メニュー階層」のサブメニュー

項目	項目の内容
全て表示	すべての階層の項目が表示されます。
最上位レベル表示	最も上位の項目だけが表示されます。たとえば1つの書籍に「部」「章」「節」「項」の階層がある場合は、「部」の項目だけが表示されます。
レベル1表示	最上位レベルの次の階層までが表示されます。たとえば1つの書籍に「部」「章」「節」「項」の階層がある場合は、「部」「章」までの項目が表示されます。
レベル2表示	レベル1の次の階層までが表示されます。たとえば1つの書籍に「部」「章」「節」「項」の階層がある場合は、「部」「章」「節」までの項目が表示されます。
レベル3表示	レベル2の次の階層までが表示されます。たとえば1つの書籍に「部」「章」「節」「項」の階層がある場合は、「部」「章」「節」「項」までの項目が表示されます。

参考

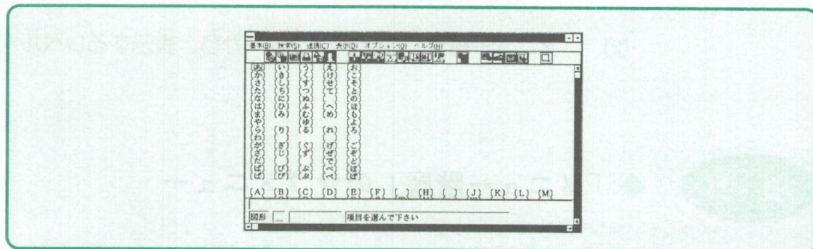
- 項目の左側の「▷」を左ダブルクリックしても、下位レベルの項目の表示と消去を切り換えることができます。

索引ジャンプ



操作

- 1 『表示』のプルダウンメニューから『索引ジャンプ』を選択。
▶50音別、アルファベット別のメニューが表示されます。



- 2 検索する項目の頭文字を左ダブルクリック。
▶索引画面が表示されます。表示する項目を左クリックします（「索引」
（→P. 71））。

ツールバー表示

操作

- 1 『表示』のプルダウンメニューから『ツールバー表示』を選択。
▶「ツールバー表示」のサブメニューが表示されます。
- 2 「ツールバー表示」のサブメニュー（→項目）から、ツールバーに表示する内容や位置を選択。

項目

◆「ツールバー表示」のサブメニュー

項目	項目の内容
基本	ツールバーの基本行を表示するかどうかを選択します。
拡張	ツールバーの拡張行を表示するかどうかを選択します。
上/下/左/右	ツールバーの表示位置を、それぞれウィンドウ内の上部、下部、右側、左側に設定します。
自由	アイコンのまとまったウィンドウが表示され、自由に位置を設定できます。

注意

- ツールバーは、サブメニュー名に「✓」が付いている内容で表示されます。

参考

- ツールバーのアイコンについて詳しくは、付録の「CDView/Winツールバーアイコン一覧」(→P. 92)を参照してください。

6

オプション

▶ CDView/Winのオプションのプルダウンメニューの項目を説明します。

選択型変更



範囲指定の選択方法（選択型）を設定します。

操作

- ① 【オプション】のプルダウンメニューから【選択型変更】を選択。
 - ▶ 画面左下に、変更された選択型（テキスト型「_」、図形型「□」）が表示されます。
 - ▶ 範囲の指定方法について詳しくは、「範囲の指定方法」（→P. 28）を参照してください。

参考

- 【CTRL】を押しながらドラッグすると、連続して複数の範囲を指定できます。
- 画面左下の選択型表示部分を左クリックしても、選択型を切り換えることができます。

著作権表示



【著作権表示】を選択すると、検索中のCD-ROM辞書の著作権を表示できます。【オプション】のプルダウンメニューから【著作権表示】を選択します。

概要表示



【概要表示】を選択すると、そのCD辞書の概要を表示できます。【オプション】のプルダウンメニューから【概要表示】を選択します。

付録







1. CDView/Win機種別キーボード対応表…………… 82
2. クリップアート集…………… 83
3. CDView/Winツールバーアイコン一覧…………… 92

1

CDView/Win機種別キーボード対応表

▶CDView/Winの各機能は、キーボード操作でも実行できます。ご使用の機種により、キーの割当てが異なりますので、お使いの環境に対応した欄を参照してください。

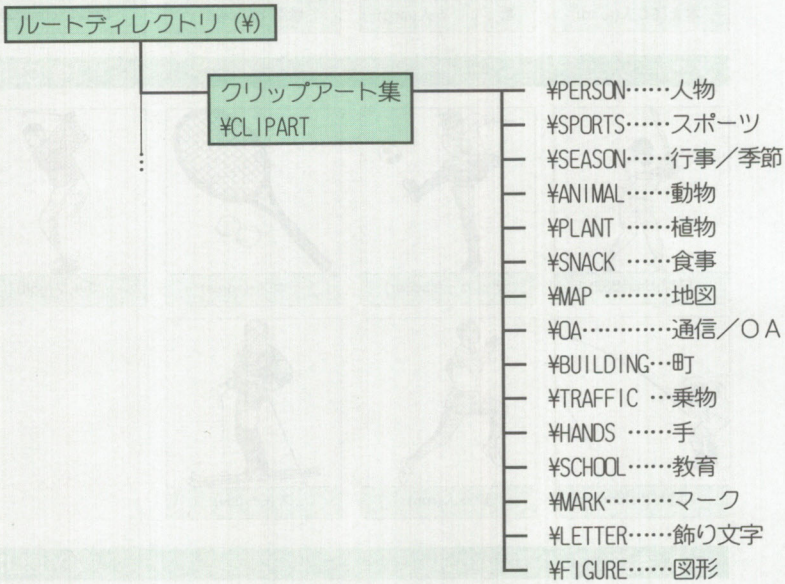
機能名		FMR シリーズ, FM TOWNS シリーズ	PC-9800シリーズ, PC486/386シリーズ	PS/55, PS/V, Dynabook V, DESKPRO/i, DECpc, Axi/V の各シリーズ
	前画面スクロール 次画面スクロール  取消 タブ ヘルプ	【前行】 【次行】 【実行】、  【ESC、取消】 【タブ】 【PF 1】	【ROLL DOWN】 【ROLL UP】  【ESC】 【TAB】 【f・1】	【Page Up, PgUp】 【Page Down, PgDn】  【Esc】 【F 1】
基本	CD-ROM切換 書籍切換 動作環境 印刷 カーソル設定 終了	【PF 9】 【CTRL】 + 【PF 9】 【SHIFT】 + 【PF 9】 【PF12】 【PF11】 【PAUSE】	【f・9】 【CTRL】 + 【f・9】 【SHIFT】 + 【f・9】 【SHIFT】 + 【f・2】 【SHIFT】 + 【f・3】 【STOP】	【F 9】 【Ctrl】 + 【F 9】 【Shift】 + 【F 9】 【F 12】 【F 11】 【PAUSE】
検索	入力語検索 関連語検索 条件検索 複合検索 メニュー検索 目次 索引 他書籍検索	【PF 4】 【PF 3】 【PF 2】 【CTRL】 + 【PF 4】 【CTRL】 + 【PF 1】 【CTRL】 + 【PF 2】 【CTRL】 + 【PF 3】 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 4】	【f・4】 【f・3】 【f・2】 【CTRL】 + 【f・4】 【CTRL】 + 【f・1】 【CTRL】 + 【f・2】 【CTRL】 + 【f・3】 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・4】	【F 4】 【F 3】 【F 2】 【Ctrl】 + 【F 4】 【Ctrl】 + 【F 1】 【Ctrl】 + 【F 2】 【Ctrl】 + 【F 3】 【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 4】
連携	連携複写	【SHIFT】 + 【削除】	【SHIFT】 + 【DEL】	【Shift】 + 【DEL】
表示	前結果 図版原寸大 表示形式 前画面 次画面 前項目 次項目 全て表示 最上位レベル レベル1表示 レベル2表示 レベル3表示 索引ポップ	【CTRL】 + 【PF 5】 【PF 6】 【PF 5】 【PF 7】 【PF 8】 【CTRL】 + 【PF 7】 【CTRL】 + 【PF 8】 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 5】 【SHIFT】 + 【PF 5】 【SHIFT】 + 【PF 6】 【SHIFT】 + 【PF 7】 【SHIFT】 + 【PF 8】 【CTRL】 + 【PF 6】	【CTRL】 + 【f・5】 【f・6】 【f・5】 【f・7】 【f・8】 【CTRL】 + 【f・7】 【CTRL】 + 【f・8】 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・5】 【SHIFT】 + 【f・5】 【SHIFT】 + 【f・6】 【SHIFT】 + 【f・7】 【SHIFT】 + 【f・8】 【CTRL】 + 【f・6】	【Ctrl】 + 【F 5】 【F 6】 【F 5】 【F 7】 【F 8】 【Ctrl】 + 【F 7】 【Ctrl】 + 【F 8】 【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 5】 【Shift】 + 【F 5】 【Shift】 + 【F 6】 【Shift】 + 【F 7】 【Shift】 + 【F 8】 【Ctrl】 + 【F 6】
オプション	選択型変更 概要表示 著作権表示	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 9】 【SHIFT】 + 【HOME】 【CTRL】 + 【HOME】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・9】 【SHIFT】 + 【HOME】 【CTRL】 + 【HOME】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 9】 【Shift】 + 【Home】 【Ctrl】 + 【Home】
他	参照	【SHIFT】 + 【PF 4】	【SHIFT】 + 【f・4】	【Shift】 + 【F 4】

2

クリップアート集

▶人物や行事などの様々な絵のデータ（メタファイル）があります。OASYS/Winの「組込み設定」（→オンラインリファレンス）の機能を使って、CD-ROMから直接読み込んで使います。

クリップアート集のディレクトリー一覧



付
録

クリップアートのデータ集

人物

[¥CLIPART ¥PERSON]



おじいさん、おばあさん(elderly)



お父さん、お母さん(parents)



赤ちゃん(baby)



スーツを着た男女(suit)



学生服を着た男女(student)



受付嬢(receptio)



会議する人(meeting)



演壇で話す人(speech)



考える人(think)

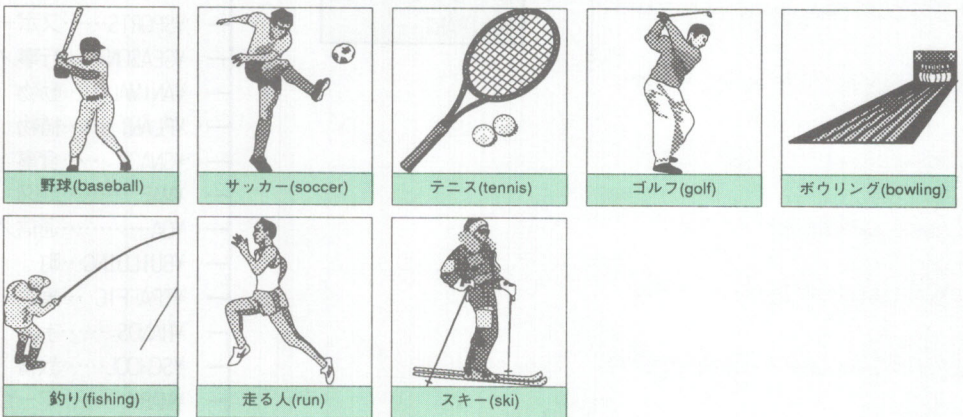


指さす人1 (point1)



スポーツ

[¥ CLIPART ¥ SPORTS]



行事/季節

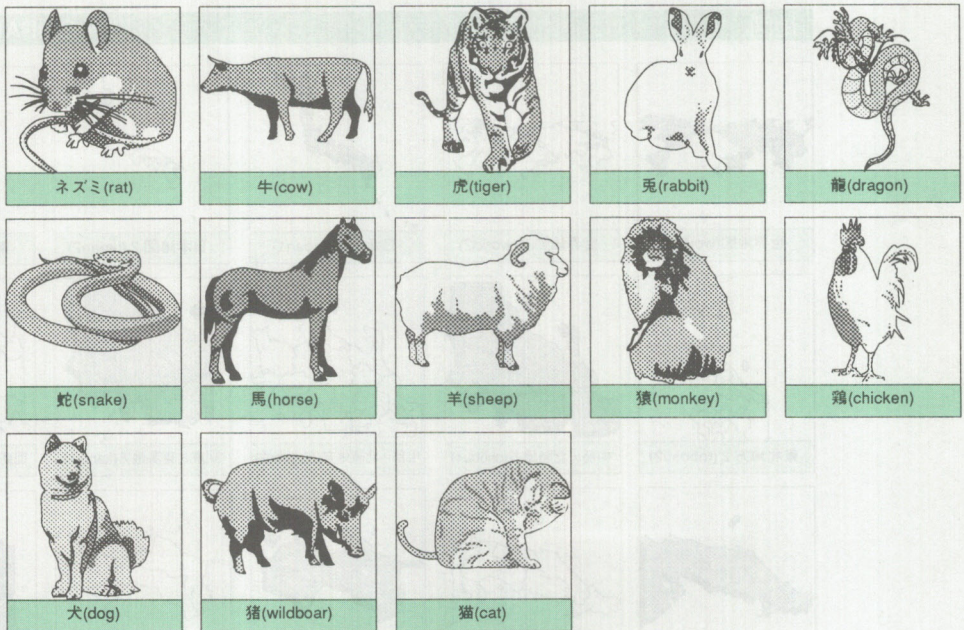
[¥ CLIPART ¥ SEASON]





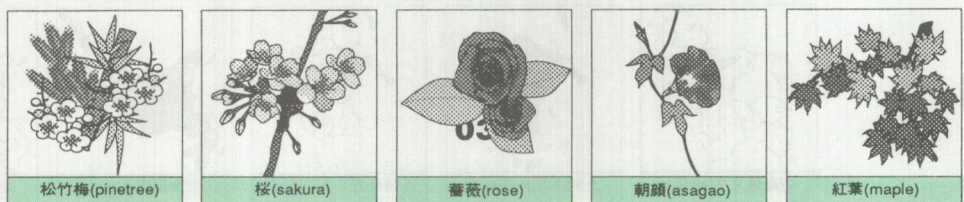
動物

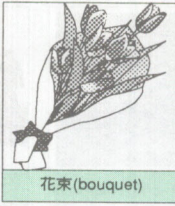
[¥ CLIPART ¥ ANIMAL]



植物

[¥ CLIPART ¥ PLANT]





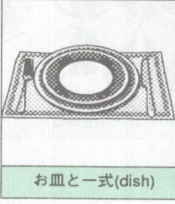
花束(bouquet)



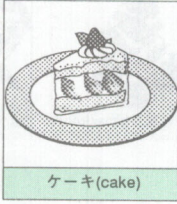
花器に生けた花(vase)

食事

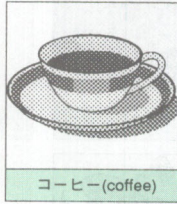
[¥ CLIPART ¥ SNACK]



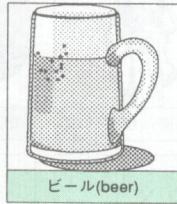
お皿と一式(dish)



ケーキ(cake)



コーヒー(coffee)



ビール(beer)



シャンパン(glass)



スイカ(suika)

地図

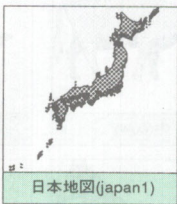
[¥ CLIPART ¥ MAP]



世界地図(world1)



世界地図 2(world2)



日本地図(japan1)



日本地図 2(japan2)



東北地方(tohoku1)



東北地方 2(tohoku2)



中部・北陸地方(chubu1)



中部・北陸地方 2(chubu2)



関東・東海地方(kanto1)



関東・東海地方 2(kanto2)



中国地方(chugoku1)



中国地方 2(chugoku2)



四国地方(shikoku1)



四国地方 2(shikoku2)



近畿地方(kinki1)



近畿地方 2(kinki2)



九州地方(kyushu1)



九州地方 2(kyushu2)



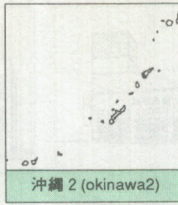
北海道(hokkai1)



北海道 2(hokkai2)



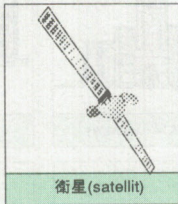
沖縄(okinawa1)



沖縄 2 (okinawa2)

通信/OA

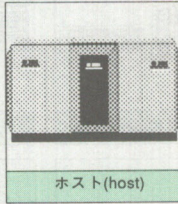
[¥ CLIPART ¥ OA]



衛星 (satellit)



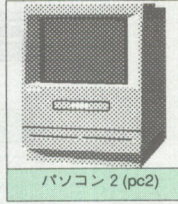
パラボラアンテナ (parabola)



ホスト (host)



パソコン 1 (pc1)



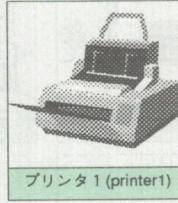
パソコン 2 (pc2)



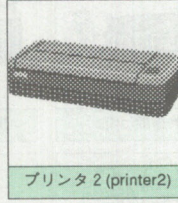
パソコン 3 (pc3)



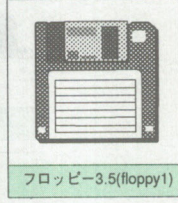
パソコン 4 (pc4)



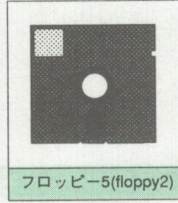
プリンタ 1 (printer1)



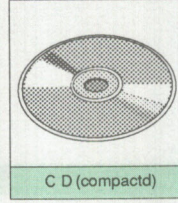
プリンタ 2 (printer2)



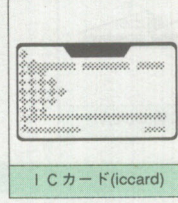
フロッピー-3.5 (floppy1)



フロッピー-5 (floppy2)



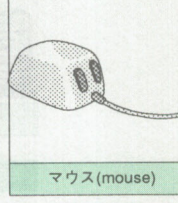
C D (compactd)



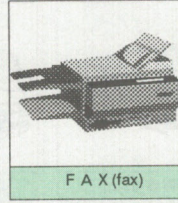
I C カード (iccard)



コピー (copy)



マウス (mouse)



F A X (fax)



電話 1 (phone1)



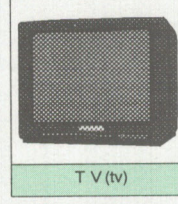
電話 2 (phone2)



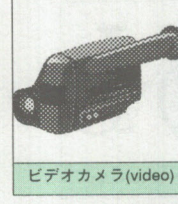
マイク (mic)



机と椅子 (desk)



T V (tv)



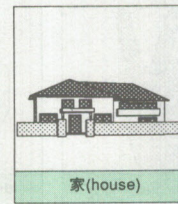
ビデオカメラ (video)

町

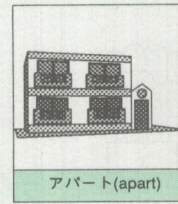
[¥ CLIPART ¥ BUILDING]



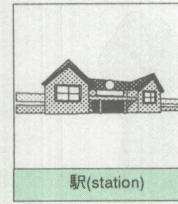
教会 (church)



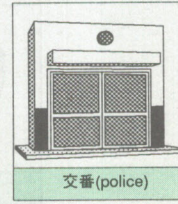
家 (house)



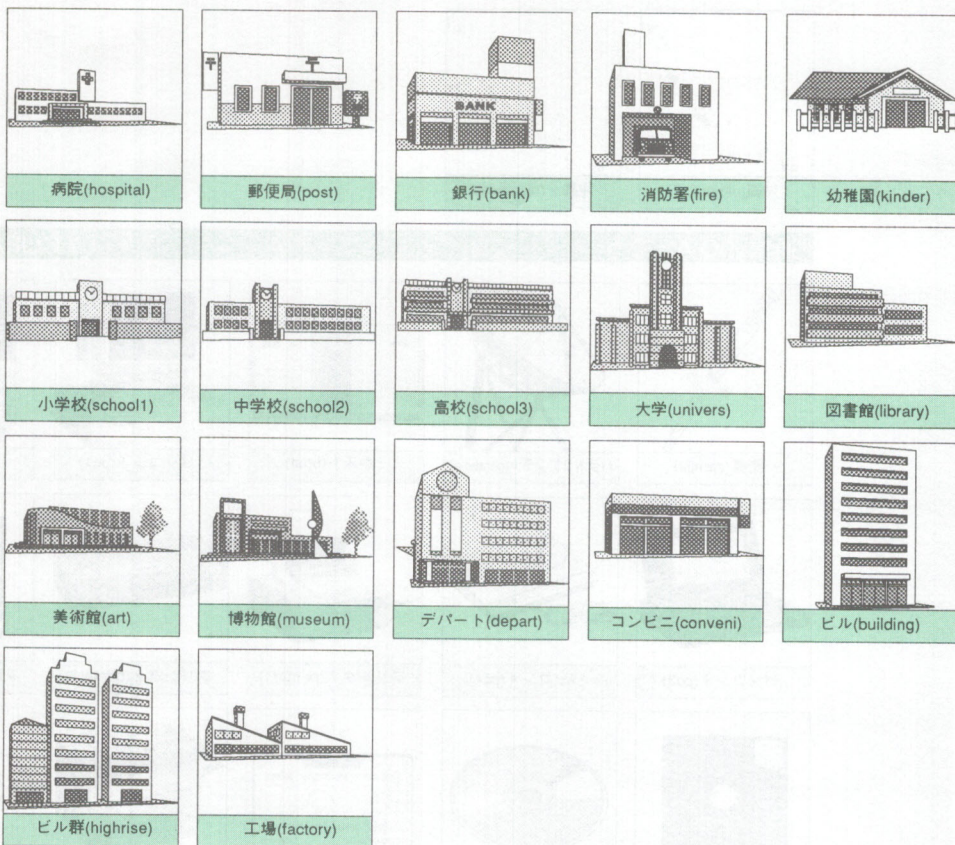
アパート (apart)



駅 (station)

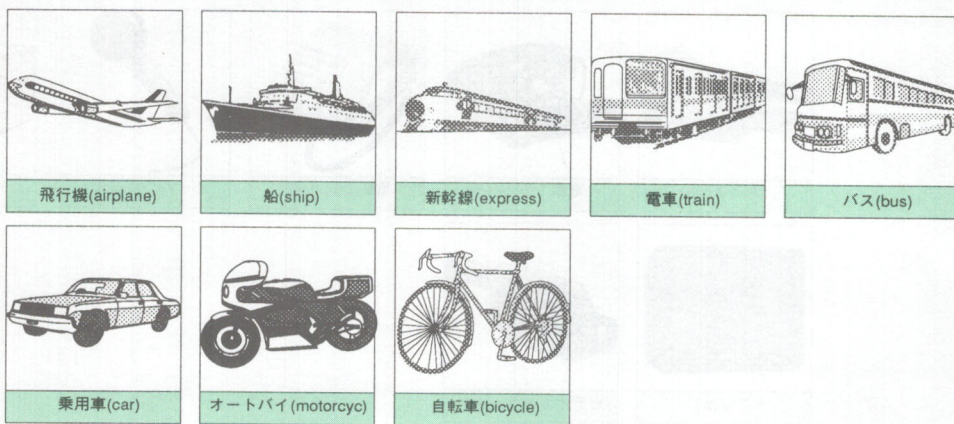


交番 (police)



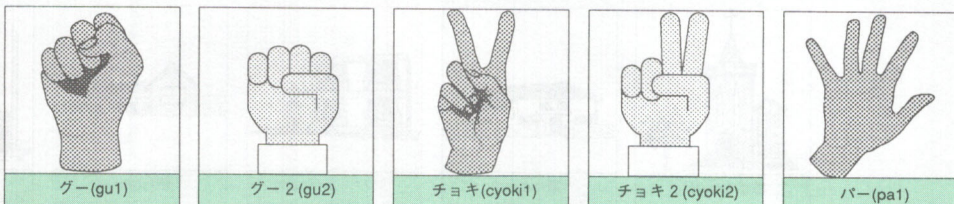
乗物

[¥ CLIPART ¥ TRAFFIC]



手

[¥ CLIPART ¥ HANDS]





教育

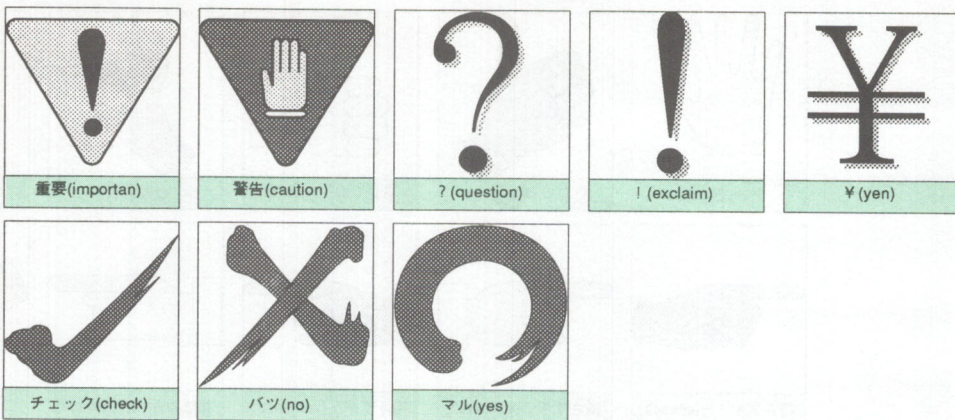
[¥ CLIPART ¥ SCHOOL]



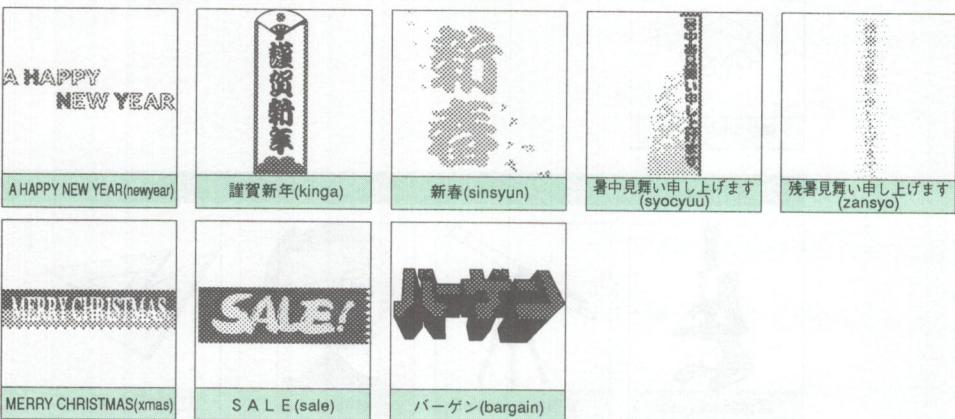
マーク

[¥ CLIPART ¥ MARK]

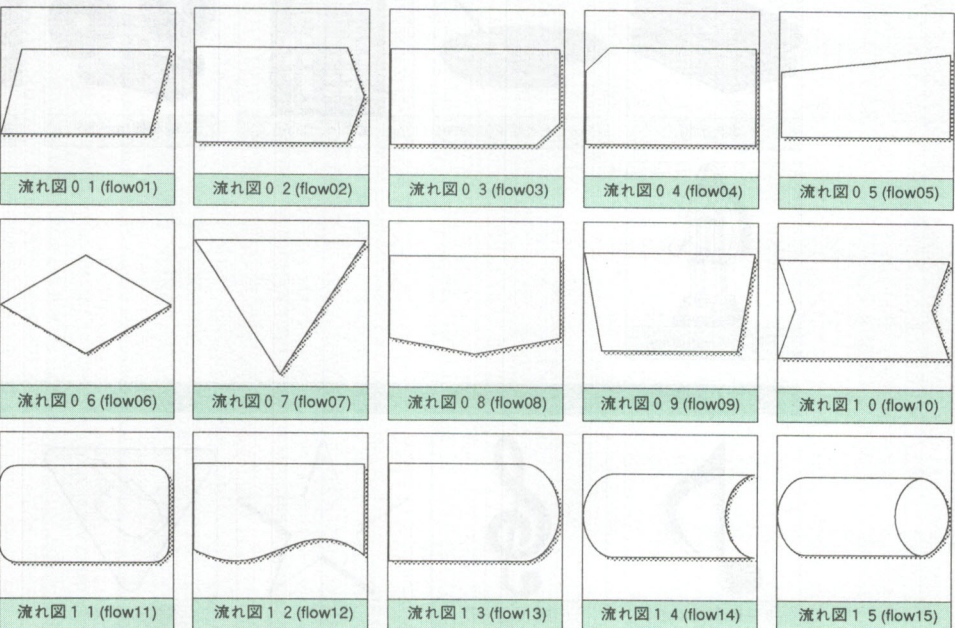


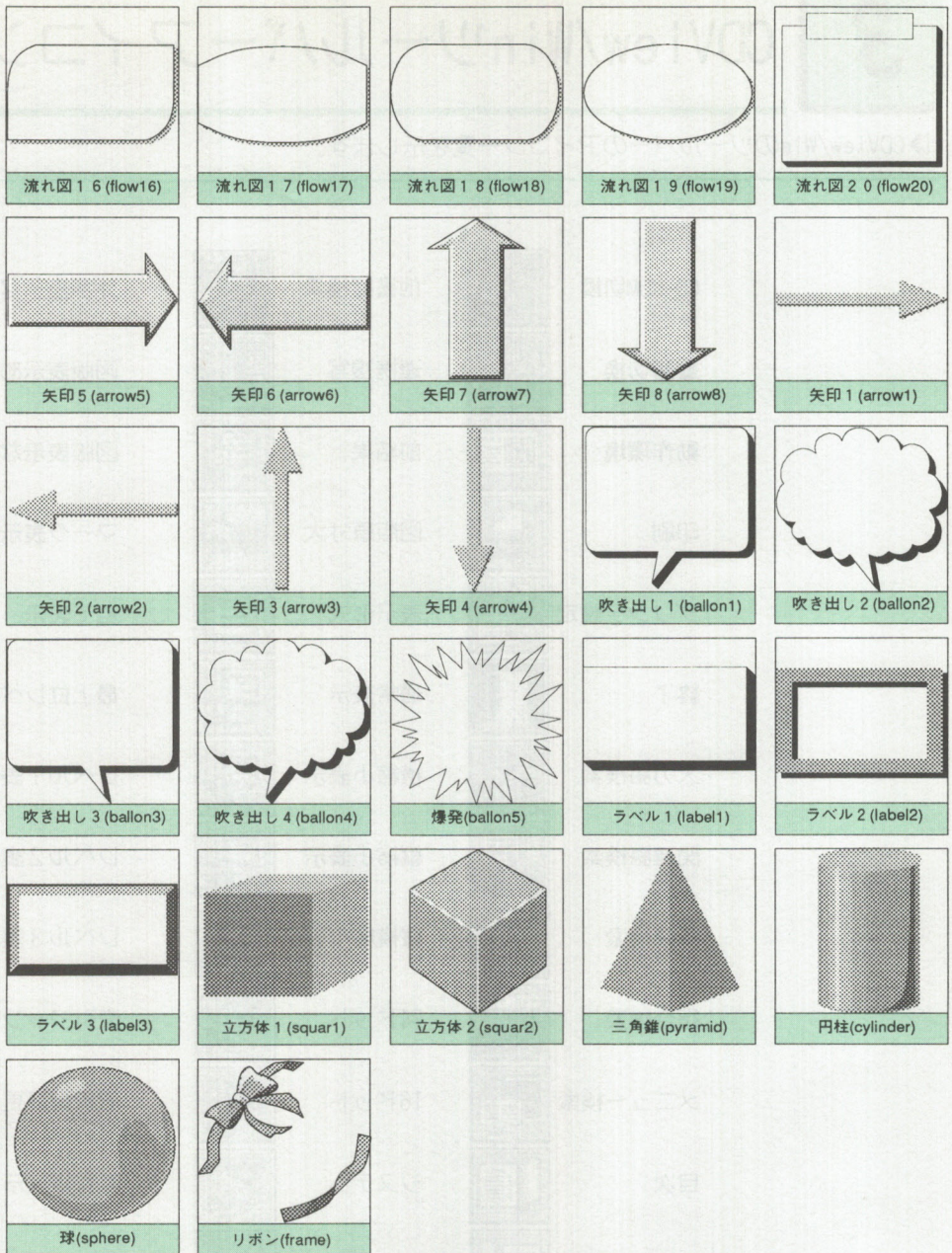


飾り文字 [¥ CLIPART ¥ LETTER]



図形 [¥ CLIPART ¥ FIGURE]





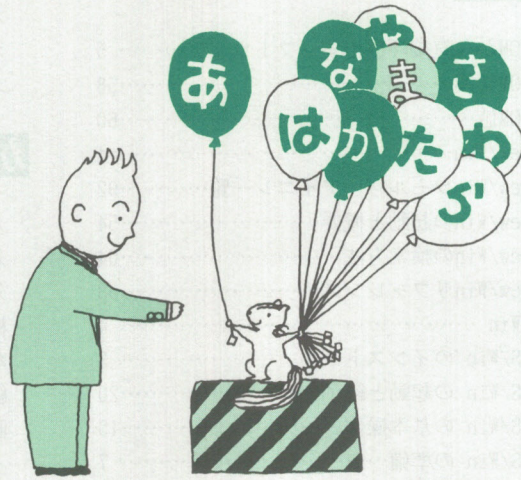
3

CDView/Winツールバーアイコン一覧

▶CDView/Winのツールバーのアイコン一覧を示します。

CD-ROM切換		他書籍検索		外字表示なし	
書籍切換		連携複写		図版表示あり	
動作環境		前結果		図版表示なし	
印刷		図版原寸大		マーク表示	
プリンタ設定		表示形式		全て表示	
終了		通常表示		最上位レベル	
入力語検索		横縮小表示		レベル1表示	
関連語検索		縦縮小表示		レベル2表示	
条件検索		縦横縮小表示		レベル3表示	
複合検索		24ドット		索引ジャンプ	
メニュー検索		16ドット		選択型変更	
目次		システム		著作権表示	
索引		外字表示あり		概要表示	

索引



50音順索引

英数字

CD-ROMから直接呼び出すソフトウェア	5
CD-ROM切換	58
CD-ROM値	60
CDView/Win	4
CDView/Winツールバーアイコン一覧	92
CDView/Winの起動と概要	54
CDView/Winの検索方法	64
CDView/Winリファレンス	53
OAK/Win	4
OASYS/Win のインストール	3
OASYS/Win の起動と終了	20
OASYS/Win の基本操作	19
OASYS/Win の準備	7
OASYS/Win を終了する	21
OASYS/Win を始める	20
StringPro	5

あ

アイコン化ボタン	23
アンインストール	17

い

一覧から複数の項目を選択する	57
一覧表	35
一覧表示	60
色表示	56
インストール	8
インストールオプション	4

お

お使いになる前に	1
オブジェクト選択範囲	61
音声の再生	56
オンラインチュートリアル	42
(機能紹介編)	42, 43
(操作練習編)	42, 44
オンラインチュートリアルの使い方	43
オンラインヘルプ	42
オンラインヘルプの使い方	51
オンラインマニュアルとは	42
オンラインマニュアルの使い方	41
オンラインリファレンス	42, 47
オンラインリファレンスの起動と終了	48
オンラインリファレンスの使い方	47

か

カーソル位置と選択範囲の関係	30
外字	60
外字登録	72
概要表示	80
かな検索	65
紙マニュアルの紹介	ii
画面スクロール (前画面、次画面)	76
(前項目、次項目)	76
画面の見方	47
関連項目ジャンプ	57
関連語検索	64, 67

き

キーボード操作練習	iv, 5
機種別キーボード対応表 (CDView/Win)	82
起動 (CDView/Win)	54
(OASYS/Win)	20
基本的な編集操作の流れ	32

く

区点番号	73
グラフィック連携	5
クリック	v
クリップアート集	iv, 83
(ディレクトリー一覧)	83
(データ集)	83

クロス検索.....66

け

検索結果表示.....60
 検索結果表示順序.....60
 検索結果表示方法.....60

こ

後半一致検索.....65
 項目番号検索.....66
 コントロールメニューボックス.....23

さ

最小化ボタン.....23
 最大化ボタン.....23
 索引.....64, 71
 索引ジャンプ.....74, 78

し

四角で囲んで範囲を指定する.....29
 システム行.....23
 知っておいていただきたいこと.....2
 終了 (CDView/Win).....55
 (OASYS/Win).....21
 縮小表示.....60
 条件検索.....64, 67
 書籍切換.....58, 59
 書類.....39
 書類を選ぶ.....35

す

推敲支援.....5
 数式.....4
 スクリプト.....5
 スクロールバー表示.....61
 図形型.....29
 図版原寸大.....74, 75
 図版最大サイズ.....61
 図版表示.....61

せ

製品の構成.....ii
 製品の構成と概要.....ii
 製品の特徴.....iii
 全角外字登録.....72
 前画面、次画面.....74, 76
 前項目、次項目.....74, 76
 選択型変更.....80
 前半一致検索.....65

た

ダイアログボックス.....33
 ダイアログボックスの設定方法.....33
 タイトルバー.....23
 他書籍検索.....64, 71
 ダブルクリック.....v

ち

著作権表示.....80

つ

ツールバー.....24
 ツールバーの使い方.....24
 ツールバー表示.....74, 78

て

テキスト型.....28

と

動作環境設定.....60
 登録パターン.....73
 ドラッグ.....v

に

入力語検索.....64, 65
 入力語条件検索
 (見出し語条件検索・クロス検索).....66

は

ハードディスクの空き容量	2
パターン数	73
範囲選択	28
範囲の指定方法	28
半角外字登録	72

ひ

必要なハードウェア・ソフトウェア	2
表記形検索	65

ふ

複合検索	64, 69
プリンタ設定	58, 62
プルダウンメニュー	23
付録	81
文書形式/文書ドライブ指定	37
文書作成画面	22
文書作成画面の見方	22
文書作成/更新画面	23
文書の保存のしくみ	39

へ

ヘルプ (CDView/Win)	57
(OASYS/Win)	51

ほ

本書の使い方	v
本文一覧表示	60
本文中のメニューおよび コマンドの表記、ページの見方	v
本文表示	60

ま

マウスの使い方	v
前結果	74, 75

み

見出し語条件検索	66
----------	----

め

メニュー階層	74, 77
メニュー階層表示レベル	60
メニュー検索	64, 70
メニューバー	23

も

目次	64
目次検索	70
文字サイズ	60
文字パターン基本セット	3

れ

連携	72
連携複写	72

Microsoft® Windows™
OASYS/Win V2.0 CD-ROM版 ユーザーズガイド

80SP-2370-1-0

発行日 1994年2月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

©9405-3



FUJITSU

本マニュアルは、100%リサイクル可能な用紙を使用しています。



T4988618840699